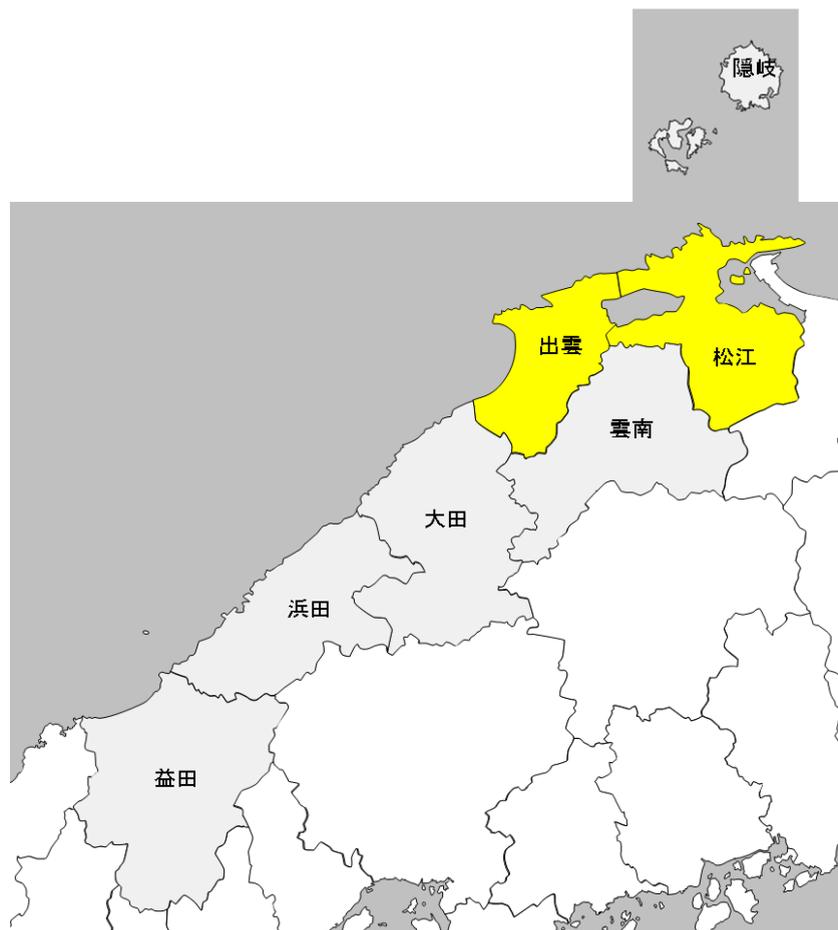


# 32. 島根県

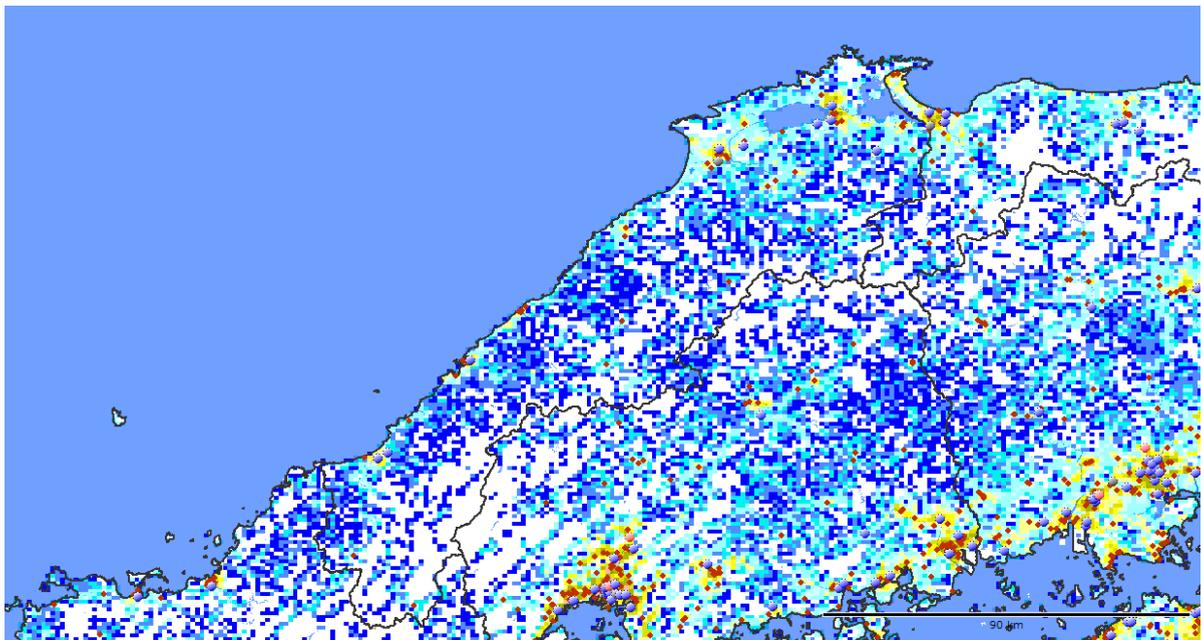


目次

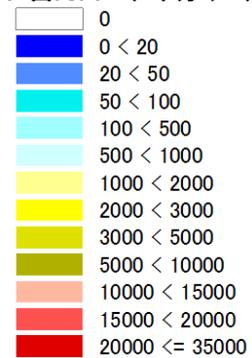
島根県	32	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	32	-	8
1. 松江医療圏	32	-	20
2. 雲南医療圏	32	-	25
3. 出雲医療圏	32	-	30
4. 大田医療圏	32	-	35
5. 浜田医療圏	32	-	40
6. 益田医療圏	32	-	45
7. 隠岐医療圏	32	-	50

# 32. 島根県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## （島根県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 島根県は、総人口約687千人(2015年推計)、面積6708km<sup>2</sup>、人口密度は102人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 島根県の総人口は2025年に622千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に521千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の123千人が、2025年にかけて137千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には129千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 島根県の一人当たり医療費(国保)は393千円(偏差値68)、介護給付費は309千円(偏差値65)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 島根県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.26で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が54(病院医師数54、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 島根県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13246人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8636床(偏差値58)、高齢者住宅等が4610床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11506人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム44、軽費ホーム53、グループホーム57、サ高住49である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1509人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+11%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

島根県の総人口は、2005年742223人が、2015年に687105人と7%減少し、2025年の人口が621882人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

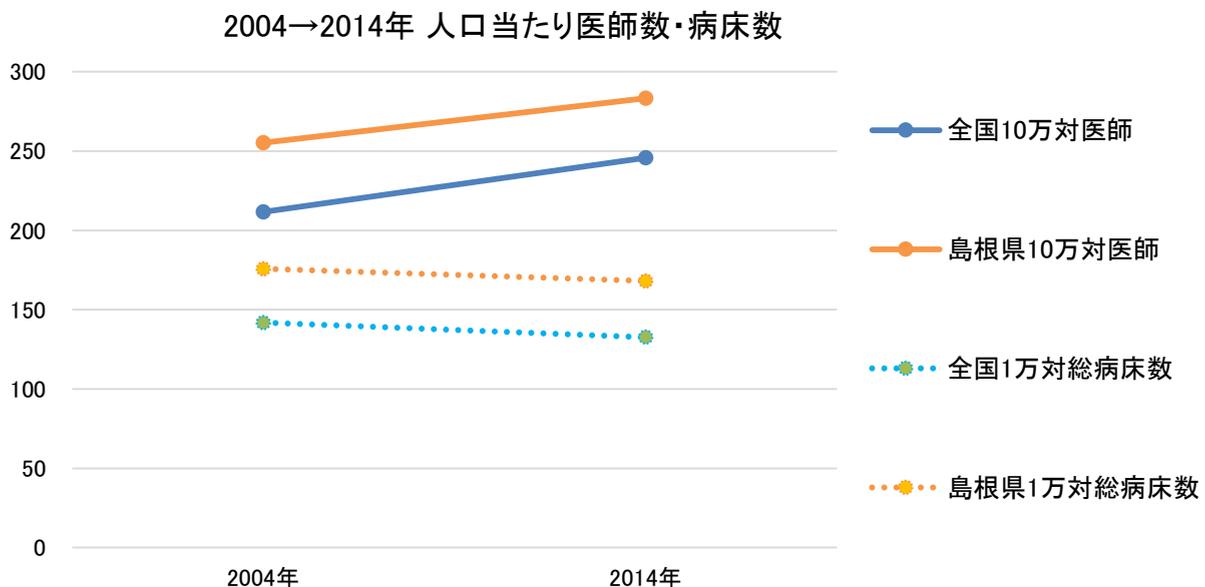
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が59(人口10万人当たり7.9病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に52(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が770(人口10万人当たり104診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2014年に723(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値63)と、47診療所が減少した。

2004年の総病床数が13046床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に11548床(人口1万人当たり168(全国平均133)偏差値56)と、1498床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

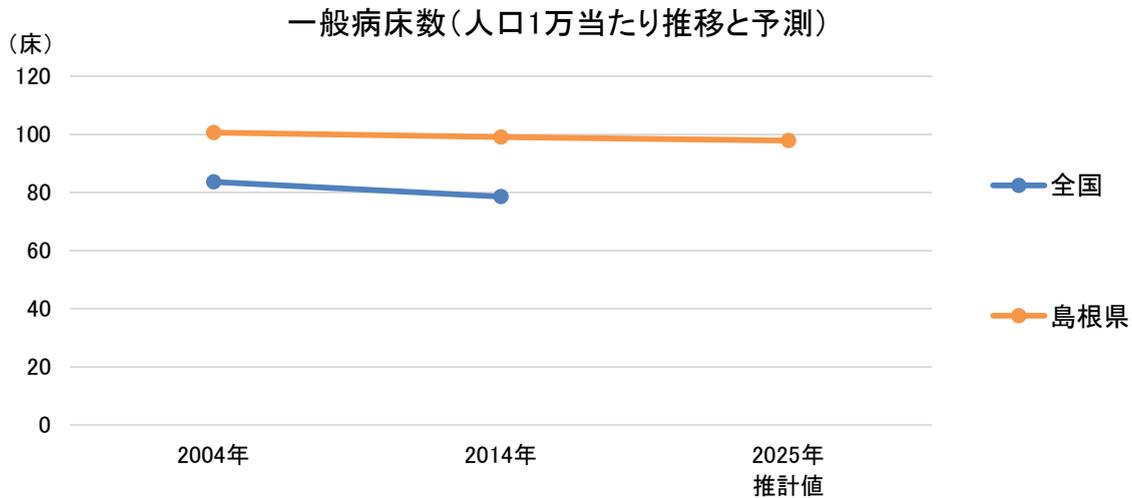
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1895人(人口10万人当たり255人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2014年に1947人(人口10万人当たり283人(全国平均246人)偏差値54)と、52人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 32. 島根県（2016年版）

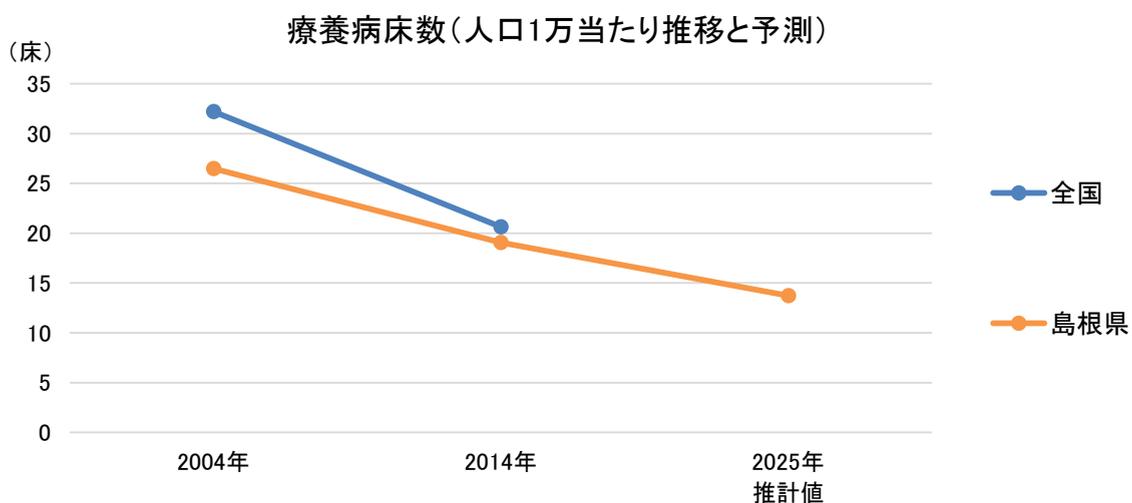
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7471床(人口1万人当たり101(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に6811床(人口1万人当たり99(全国平均79)偏差値58)と、660床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6085床(2025年の推計人口1万人当たり98)になることが予想される。



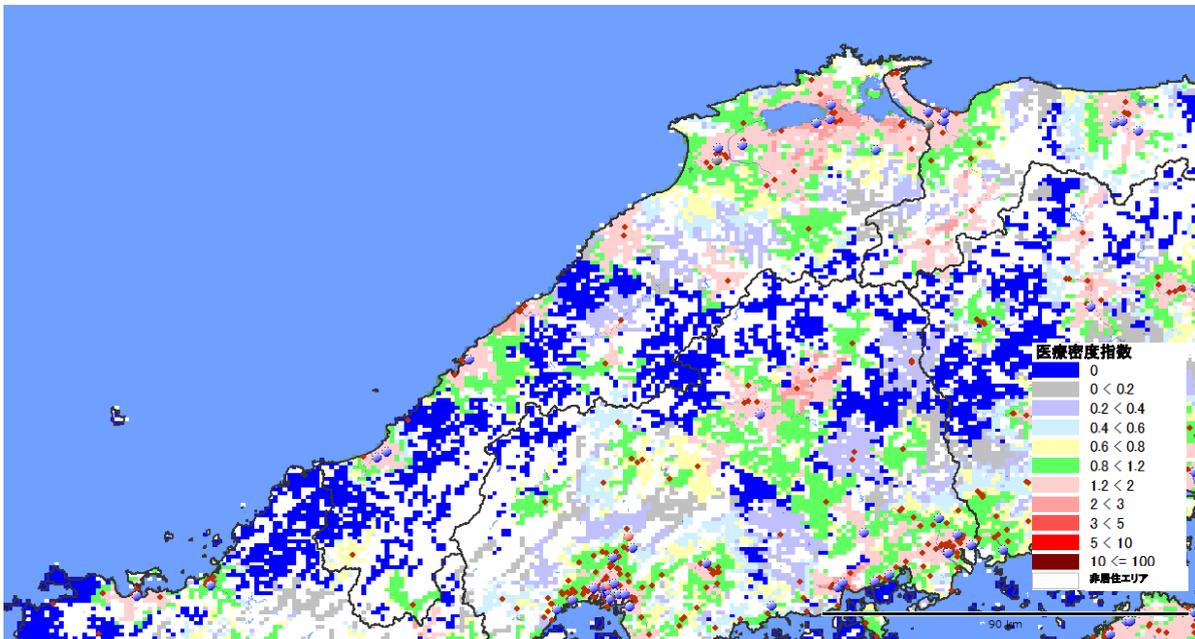
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2776床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に2350床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、426床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1882床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

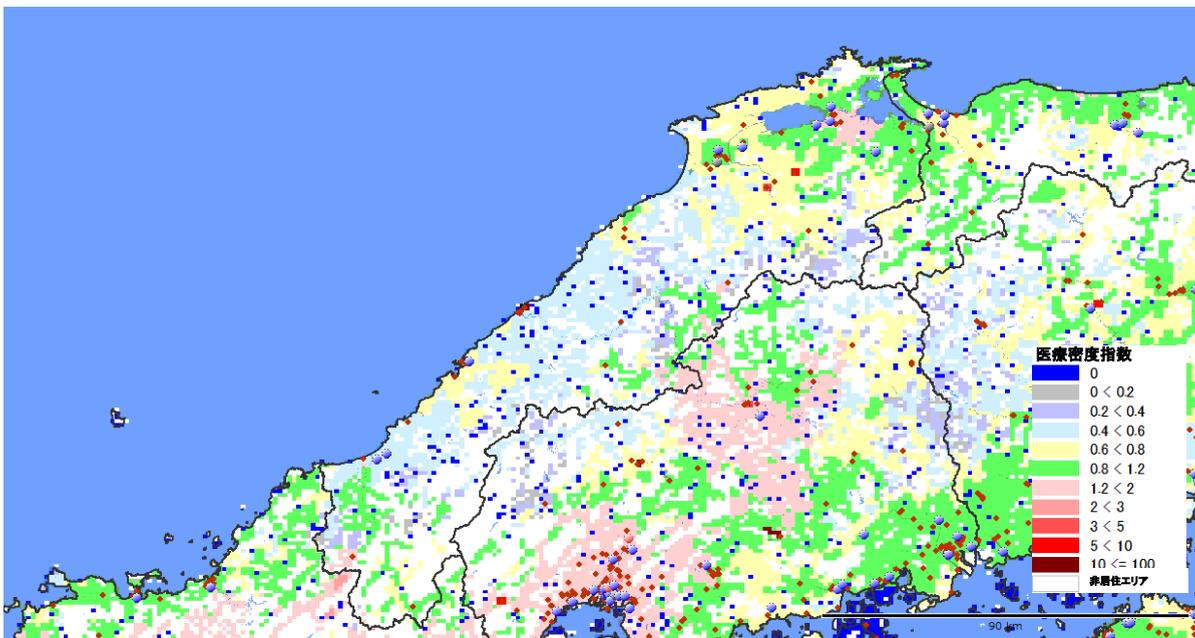


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表32-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-2 慢性期医療密度指数マップ



32. 島根県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 32-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
島根県	687	46位	6,708	19位	102.4		33%	622	521	123	137	129	-9%	-16%	11%	-6%
松江	244	36%	994	15%	245.8	地方都市型	29%	228	197	38	46	46	-7%	-14%	21%	0%
雲南	58	8%	1,164	17%	49.6	過疎地域型	38%	50	39	13	13	12	-14%	-22%	0%	-8%
出雲	167	24%	624	9%	268.1	地方都市型	29%	157	138	26	30	30	-6%	-12%	15%	0%
大田	55	8%	1,245	19%	43.9	過疎地域型	40%	46	36	13	13	11	-16%	-22%	0%	-15%
浜田	82	12%	958	14%	85.6	過疎地域型	34%	72	57	16	16	15	-12%	-21%	0%	-6%
益田	61	9%	1,377	21%	44.4	過疎地域型	37%	53	41	13	14	12	-13%	-23%	8%	-14%
隠岐	20	3%	346	5%	57.7	過疎地域型	41%	17	13	5	5	4	-15%	-24%	0%	-20%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 32-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
島根県	1.34	1.26	5.3%	11.1%
松江	1.83	1.36	-11.9%	-11.7%
雲南	1.13	1.23	0.3%	10.1%
出雲	1.17	1.31	7.0%	9.4%
大田	0.82	1.24	17.3%	29.7%
浜田	1.25	1.90	9.4%	19.7%
益田	0.90	3.02	10.0%	21.9%
隠岐	0.50	0.69	5.4%	17.9%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資\_図表 32-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
島根県	393	68	1.027	309	65
松江	382	65	1.096	285	58
雲南	391	67	1.077	295	61
出雲	375	64	1.079	301	63
大田	419	74	1.140	347	75
浜田	442	80	1.192	356	78
益田	399	70	1.089	297	62
隠岐	380	65	1.026	354	77
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 32-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	病院数			診療所数	診療所数		
		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
島根県	52	0.6%	7.6	52	723	0.7%	105	63
松江	16	31%	6.5	50	245	34%	100	61
雲南	5	10%	8.7	55	53	7%	92	56
出雲	11	21%	6.6	50	163	23%	97	59
大田	4	8%	7.3	51	72	10%	132	77
浜田	9	17%	11.0	60	95	13%	116	69
益田	5	10%	8.2	54	74	10%	121	71
隠岐	2	4%	10.0	58	21	3%	105	63
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 32-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	診療所数(全体)			無床診療所数			有床診療所数				
		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
島根県	723	0.7%	105	63	675	0.7%	98	63	48	0.6%	7.0	51
松江	245	34%	100	61	228	34%	93	61	17	35%	7.0	51
雲南	53	7%	92	56	53	8%	92	60	0	0%	0	40
出雲	163	23%	97	59	151	22%	90	59	12	25%	7.2	51
大田	72	10%	132	77	65	10%	119	74	7	15%	12.8	59
浜田	95	13%	116	69	84	12%	102	66	11	23%	13.4	60
益田	74	10%	121	71	73	11%	120	75	1	2%	1.6	43
隠岐	21	3%	105	63	21	3%	105	67	0	0%	0	40
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

32. 島根県（2016年版）

資\_図表 32-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
島根県	11,003	0.7%	1,601	57	545	0.5%	79	49	11,548	0.7%	1,681	56
松江	4,115	37%	1,684	59	174	32%	71	48	4,289	37%	1,755	58
雲南	702	6%	1,216	50	0	0%	0	42	702	6%	1,216	48
出雲	2,774	25%	1,658	58	116	21%	69	48	2,890	25%	1,727	57
大田	728	7%	1,332	52	91	17%	167	57	819	7%	1,499	53
浜田	1,431	13%	1,745	60	145	27%	177	58	1,576	14%	1,922	61
益田	1,094	10%	1,792	61	19	3%	31	45	1,113	10%	1,823	59
隠岐	159	1%	796	41	0	0%	0	42	159	1%	796	41
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 32-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
島根県	6,342	0.7%	923	59	2,274	0.7%	331	53	2,324	0.7%	338	53
松江	2,459	39%	1,006	63	694	31%	284	51	931	40%	381	55
雲南	405	6%	701	50	193	8%	334	54	100	4%	173	46
出雲	1,679	26%	1,003	63	611	27%	365	55	478	21%	286	51
大田	378	6%	692	49	178	8%	326	53	168	7%	307	52
浜田	684	11%	834	56	333	15%	406	57	410	18%	500	61
益田	626	10%	1,025	64	241	11%	395	56	215	9%	352	54
隠岐	111	2%	556	43	24	1%	120	43	22	1%	110	43
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 32-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
島根県	576	0.8%	84	56	728	2.0%	106	65
松江	256	44%	105	60	237	33%	97	63
雲南	30	5%	52	49	59	8%	102	64
出雲	156	27%	93	58	72	10%	43	52
大田	0	0%	0	38	148	20%	271	99
浜田	90	16%	110	62	120	16%	146	73
益田	44	8%	72	53	92	13%	151	74
隠岐	0	0%	0	38	0	0%	0	43
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資\_図表 32-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
島根県	6,227	5,112	645	4,368	1,080	1,395	82.6%	62	31.6%	60
松江	1,995	1,790	79	1,825	588	401	75.3%	59	16.5%	53
雲南	487	345	138	215	60	55	85.2%	64	71.5%	77
出雲	1,672	1,308	52	1,052	327	559	80.0%	61	8.5%	50
大田	437	378	55	291	0	123	100.0%	70	30.9%	59
浜田	727	611	116	660	55	197	91.7%	66	37.1%	62
益田	750	569	181	325	50	60	91.9%	66	75.1%	79
隠岐	159	111	24	0	0	0	100.0%	70	100.0%	89

出典 地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む)  
公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。

資\_図表 32-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
島根県	15,540	0.6%	2,262	50	5,976	0.6%	870	52
松江	6,276	40%	2,568	53	2,136	36%	874	52
雲南	312	2%	540	34	36	1%	62	24
出雲	6,768	44%	4,045	67	2,220	37%	1,327	68
大田	168	1%	307	32	396	7%	725	47
浜田	888	6%	1,083	39	780	13%	951	55
益田	960	6%	1,572	44	348	6%	570	42
隠岐	168	1%	841	37	60	1%	300	32

出典 平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

資\_図表 32-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
島根県	2,123	0.6%	309	54	1,312	0.6%	191	54	811	0.6%	118	55
松江	698	33%	286	52	400	31%	164	50	298	37%	122	56
雲南	96	5%	166	39	52	4%	89	39	44	5%	76	42
出雲	796	37%	476	72	585	45%	349	77	211	26%	126	57
大田	127	6%	232	46	54	4%	98	40	73	9%	134	59
浜田	199	9%	242	47	113	9%	138	46	85	11%	104	50
益田	172	8%	281	51	85	6%	139	46	87	11%	143	62
隠岐	36	2%	178	40	24	2%	118	43	12	1%	60	37

出典 病院医師数と診療所医師数の合計 平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月

32. 島根県 (2016年版)

資\_図表 32-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
島根県	109	0.7%	15.9	55	82	0.7%	11.9	55	65	0.6%	9.5	53
松江	31	28%	12.7	50	24	29%	9.8	50	26	40%	10.6	56
雲南	7	6%	12.1	50	2	2%	3.5	36	2	3%	3.5	38
出雲	54	50%	32.3	80	35	43%	20.9	74	22	34%	13.1	63
大田	6	6%	11.0	48	4	5%	7.3	44	4	6%	7.3	48
浜田	10	9%	12.2	50	9	11%	11.0	52	7	11%	8.5	51
益田	1	1%	1.6	34	5	6%	8.2	46	3	5%	4.9	41
隠岐	0	0%	0	32	3	4%	15.0	61	1	2%	5.0	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 32-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
島根県	29	0.5%	4.2	50	51	0.5%	7.4	50	40	0.5%	5.8	50
松江	5	17%	2.0	40	19	37%	7.8	51	14	35%	5.7	49
雲南	2	7%	3.5	47	1	2%	1.7	32	2	5%	3.5	41
出雲	17	59%	10.2	78	17	33%	10.2	59	16	40%	9.6	64
大田	1	3%	1.8	39	1	2%	1.8	33	1	3%	1.8	34
浜田	2	7%	2.4	42	8	16%	9.8	57	3	8%	3.7	41
益田	2	7%	3.3	46	4	8%	6.6	47	4	10%	6.6	53
隠岐	0	0%	0	30	1	2%	5.0	43	0	0%	0	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 32-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
島根県	62	0.7%	9.0	57	121	0.6%	17.6	52	100	0.7%	14.6	55
松江	18	29%	7.4	52	44	36%	18.0	53	42	42%	17.2	61
雲南	1	2%	1.7	36	5	4%	8.7	40	5	5%	8.7	42
出雲	21	34%	12.6	67	53	44%	31.7	72	29	29%	17.3	62
大田	3	5%	5.5	47	1	1%	1.8	30	2	2%	3.7	31
浜田	12	19%	14.6	73	11	9%	13.4	46	11	11%	13.4	53
益田	6	10%	9.8	59	6	5%	9.8	41	9	9%	14.7	56
隠岐	1	2%	5.0	46	1	1%	5.0	34	2	2%	10.0	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 32-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
島根県	36	0.6%	5.2	54	31	0.5%	4.5	48	38	0.7%	5.5	55
松江	11	31%	4.5	50	11	35%	4.5	48	12	32%	4.9	52
雲南	1	3%	1.7	37	1	3%	1.7	36	0	0%	0	36
出雲	13	36%	7.8	66	12	39%	7.2	59	19	50%	11.4	74
大田	4	11%	7.3	64	2	6%	3.7	44	2	5%	3.7	48
浜田	2	6%	2.4	40	3	10%	3.7	44	1	3%	1.2	40
益田	4	11%	6.6	60	2	6%	3.3	43	4	11%	6.6	58
隠岐	1	3%	5.0	52	0	0%	0	29	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 32-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
島根県	52	0.8%	7.6	58	10	0.6%	1.5	53	19	0.6%	2.8	51
松江	16	31%	6.5	54	2	20%	0.8	46	3	16%	1.2	42
雲南	0	0%	0	33	0	0%	0	37	2	11%	3.5	55
出雲	31	60%	18.5	93	5	50%	3.0	69	8	42%	4.8	63
大田	3	6%	5.5	51	0	0%	0	37	1	5%	1.8	46
浜田	1	2%	1.2	37	2	20%	2.4	63	4	21%	4.9	63
益田	0	0%	0	33	1	10%	1.6	55	1	5%	1.6	44
隠岐	1	2%	5.0	49	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 32-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
島根県	8	0.4%	1.2	47	21	0.9%	3.1	59
松江	5	63%	2.0	54	11	52%	4.5	70
雲南	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出雲	3	38%	1.8	52	8	38%	4.8	72
大田	0	0%	0	37	0	0%	0	36
浜田	0	0%	0	37	2	10%	2.4	54
益田	0	0%	0	37	0	0%	0	36
隠岐	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

32. 島根県 (2016年版)

資\_図表 32-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
島根県	7,755	0.7%	1,129	59	6,289	0.7%	915	58	1,466	0.7%	213	58
松江	2,709	35%	1,109	58	2,256	36%	923	59	453	31%	185	54
雲南	439	6%	760	46	347	6%	602	45	92	6%	159	50
出雲	2,245	29%	1,342	66	1,910	30%	1,142	68	335	23%	200	56
大田	461	6%	844	49	325	5%	595	45	136	9%	249	63
浜田	1,018	13%	1,242	63	750	12%	914	58	268	18%	327	73
益田	721	9%	1,181	61	577	9%	944	60	145	10%	237	61
隠岐	162	2%	811	48	124	2%	620	46	38	3%	190	55
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 32-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
島根県	835	0.7%	121	55	1,275	0.4%	186	46
松江	384	46%	157	62	451	35%	185	46
雲南	39	5%	67	45	59	5%	102	37
出雲	201	24%	120	55	384	30%	229	50
大田	31	4%	57	43	86	7%	157	43
浜田	93	11%	113	54	153	12%	187	46
益田	78	9%	127	56	119	9%	195	47
隠岐	9	1%	45	40	23	2%	115	38
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 32-20 在宅医療施設数 (在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
島根県	129	0.9%	1.0	53	8	0.7%	0.1	50	79	0.8%	0.6	53
松江	46	36%	1.2	57	2	25%	0.1	48	28	35%	0.7	59
雲南	6	5%	0.5	40	0	0%	0	39	6	8%	0.5	43
出雲	28	22%	1.1	54	1	13%	0.0	45	20	25%	0.8	59
大田	8	6%	0.6	44	1	13%	0.1	51	8	10%	0.6	52
浜田	27	21%	1.7	68	0	0%	0	39	8	10%	0.5	46
益田	11	9%	0.9	49	1	13%	0.1	52	6	8%	0.5	44
隠岐	3	2%	0.7	45	3	38%	0.7	141	3	4%	0.7	54
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資\_図表 32-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
島根県	13,246	0.8%	107	55	8,636	0.9%	70	58	4,610	0.7%	37	49
松江	4,411	33%	117	61	2,519	29%	67	56	1,892	41%	50	57
雲南	1,151	9%	87	42	969	11%	73	60	182	4%	14	33
出雲	3,000	23%	114	59	1,652	19%	63	52	1,348	29%	51	58
大田	1,371	10%	105	53	1,027	12%	78	65	344	7%	26	41
浜田	1,548	12%	100	50	1,177	14%	76	63	371	8%	24	40
益田	1,337	10%	105	54	936	11%	74	61	401	9%	32	45
隠岐	428	3%	93	46	356	4%	77	64	72	2%	16	34
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 32-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
島根県	2,867	0.8%	23	52	5,337	1.0%	43	60	432	0.6%	3.5	49
松江	852	30%	23	51	1,558	29%	41	58	109	25%	2.9	47
雲南	191	7%	14	37	673	13%	51	67	105	24%	7.9	59
出雲	604	21%	23	52	1,048	20%	40	56	0	0%	0	40
大田	318	11%	24	54	640	12%	49	65	69	16%	5.3	53
浜田	480	17%	31	66	619	12%	40	56	78	18%	5.0	52
益田	352	12%	28	60	529	10%	42	58	55	13%	4.3	51
隠岐	70	2%	15	38	270	5%	59	75	16	4%	3.5	48
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
島根県	926	0.4%	7.5	44	249	1.1%	2.0	53	1,891	1.0%	15.3	57
松江	330	36%	8.7	45	52	21%	1.4	50	662	35%	17.6	61
雲南	10	1%	0.8	38	0	0%	0	43	108	6%	8.1	44
出雲	363	39%	13.7	50	77	31%	2.9	57	522	28%	19.8	64
大田	50	5%	3.8	41	0	0%	0	43	167	9%	12.8	52
浜田	127	14%	8.2	45	0	0%	0	43	189	10%	12.2	51
益田	46	5%	3.6	40	120	48%	9.5	89	171	9%	13.5	53
隠岐	0	0%	0	37	0	0%	0	43	72	4%	15.7	57
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

32. 島根県 (2016年版)

資\_図表 32-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
島根県	1,544	0.7%	12.5	49	90	0.7%	0.7	50	1,454	0.7%	11.8	49
松江	848	55%	22.5	64	50	56%	1.3	53	798	55%	21.2	64
雲南	64	4%	4.8	38	0	0%	0	45	64	4%	4.8	38
出雲	386	25%	14.6	53	40	44%	1.5	55	346	24%	13.1	52
大田	127	8%	9.7	45	0	0%	0	45	127	9%	9.7	46
浜田	55	4%	3.5	36	0	0%	0	45	55	4%	3.5	36
益田	64	4%	5.0	38	0	0%	0	45	64	4%	5.0	39
隠岐	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 32-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
島根県	1,479	0.9%	12.0	59	1,134	1.0%	9.2	59	345	0.8%	2.8	53
松江	537	36%	14.2	69	407	36%	10.8	67	130	38%	3.5	60
雲南	165	11%	12.4	61	144	13%	10.8	67	21	6%	1.6	39
出雲	262	18%	9.9	51	182	16%	6.9	49	79	23%	3.0	55
大田	155	10%	11.8	59	122	11%	9.3	60	33	10%	2.5	49
浜田	181	12%	11.7	58	129	11%	8.3	55	53	15%	3.4	60
益田	136	9%	10.7	54	113	10%	8.9	58	22	6%	1.7	40
隠岐	43	3%	9.3	48	36	3%	7.9	53	7	2%	1.4	37
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
島根県	13,015	0.9%	106	63	11,506	0.9%	93	65	1,509	0.7%	12.2	48
松江	4,056	31%	108	64	3,494	30%	93	64	562	37%	14.9	52
雲南	1,231	9%	93	52	1,145	10%	86	58	85	6%	6.4	37
出雲	2,967	23%	112	68	2,639	23%	100	70	328	22%	12.4	48
大田	1,313	10%	100	58	1,191	10%	91	63	122	8%	9.3	42
浜田	1,722	13%	111	67	1,450	13%	93	65	271	18%	17.5	57
益田	1,171	9%	92	52	1,074	9%	85	57	97	6%	7.6	39
隠岐	554	4%	121	75	511	4%	111	80	43	3%	9.3	42
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
島根県	9,049	0.8%	73	53	2,919	0.7%	24	49	9,610	0.6%	78	46
松江	2,424	27%	64	50	1,239	42%	33	57	3,407	35%	90	50
雲南	598	7%	45	43	161	6%	12	38	451	5%	34	32
出雲	1,534	17%	58	48	566	19%	21	47	1,976	21%	75	45
大田	1,833	20%	140	75	261	9%	20	45	979	10%	75	45
浜田	1,613	18%	104	63	448	15%	29	54	1,729	18%	111	57
益田	909	10%	72	52	186	6%	15	40	787	8%	62	41
隠岐	138	2%	30	38	58	2%	13	38	281	3%	61	40

出典 平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 32-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
島根県		742,223	687,105	-7%	621,882	-16%	2%	-2%	0%
松江	地方都市型	254,635	244,358	-4%	227,905	-10%	8%	2%	10%
雲南	過疎地域型	66,194	57,753	-13%	49,737	-25%	-3%	-7%	-10%
出雲	地方都市型	173,751	167,323	-4%	156,545	-10%	6%	0%	7%
大田	過疎地域型	63,882	54,643	-14%	46,218	-28%	-7%	-10%	-16%
浜田	過疎地域型	90,820	81,997	-10%	71,685	-21%	-2%	-6%	-7%
益田	過疎地域型	69,245	61,060	-12%	52,924	-24%	-1%	-6%	-7%
隠岐	過疎地域型	23,696	19,971	-16%	16,868	-29%	-5%	-6%	-10%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など)  
<人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

資\_図表 32-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
島根県	59	7.9	52	52	7.6	52	-7	-12%	45
松江	21	8.2	53	16	6.5	50	-5	-24%	11
雲南	5	7.6	51	5	8.7	55	0	0%	5
出雲	9	5.2	45	11	6.6	50	2	22%	13
大田	5	7.8	52	4	7.3	51	-1	-20%	3
浜田	11	12.1	63	9	11.0	60	-2	-18%	7
益田	6	8.7	54	5	8.2	54	-1	-17%	4
隠岐	2	8.4	53	2	10.0	58	0	0%	2

出典 <病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月  
<病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

32. 島根県 (2016年版)

資\_図表 32-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
島根県	770	104	64	723	105	63	-47	-6%	671
松江	254	100	62	245	100	61	-9	-4%	235
雲南	58	88	56	53	92	56	-5	-9%	48
出雲	172	99	61	163	97	59	-9	-5%	153
大田	85	133	78	72	132	77	-13	-15%	58
浜田	101	111	68	95	116	69	-6	-6%	88
益田	73	105	65	74	121	71	1	1%	75
隠岐	27	114	69	21	105	63	-6	-22%	14
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 32-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
島根県	1,895	255	55	1,947	283	54	52	3%	2,003
松江	624	245	54	647	265	52	23	4%	672
雲南	97	147	42	76	132	38	-21	-22%	53
出雲	677	390	71	776	464	72	99	15%	885
大田	119	186	47	101	185	44	-18	-15%	81
浜田	186	205	49	187	228	48	1	1%	188
益田	151	218	51	125	205	46	-26	-17%	96
隠岐	41	173	45	35	175	43	-6	-15%	28
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 32-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
島根県	13,046	176	56	11,548	168	56	-1,498	-11%	9,901
松江	4,880	192	59	4,289	176	58	-591	-12%	3,639
雲南	813	123	47	702	122	48	-111	-14%	580
出雲	2,772	160	53	2,890	173	57	118	4%	3,020
大田	992	155	52	819	150	53	-173	-17%	629
浜田	1,790	197	60	1,576	192	61	-214	-12%	1,341
益田	1,583	229	65	1,113	182	59	-470	-30%	596
隠岐	216	91	41	159	80	41	-57	-26%	96
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 32-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
島根県	7,471	101	56	6,811	99	58	-660	-9%	6,085	98
松江	2,712	107	58	2,618	107	60	-94	-3%	2,515	110
雲南	444	67	44	405	70	47	-39	-9%	362	73
出雲	1,800	104	57	1,795	107	61	-5	0%	1,790	114
大田	547	86	51	457	84	52	-90	-16%	358	77
浜田	999	110	59	791	96	57	-208	-21%	562	78
益田	821	119	62	634	104	59	-187	-23%	428	81
隠岐	148	62	42	111	56	42	-37	-25%	70	41
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 32-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
島根県	2,776	26	47	2,350	19	49	-426	-15%	1,882	14
松江	1,007	34	51	709	19	48	-298	-30%	381	8
雲南	215	18	42	193	15	45	-22	-10%	169	13
出雲	405	19	43	611	23	52	206	51%	838	28
大田	273	21	44	190	15	45	-83	-30%	99	8
浜田	317	22	44	371	24	53	54	17%	430	26
益田	535	48	59	252	20	49	-283	-53%	-59	-4
隠岐	24	5	35	24	5	37	0	0%	24	5
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

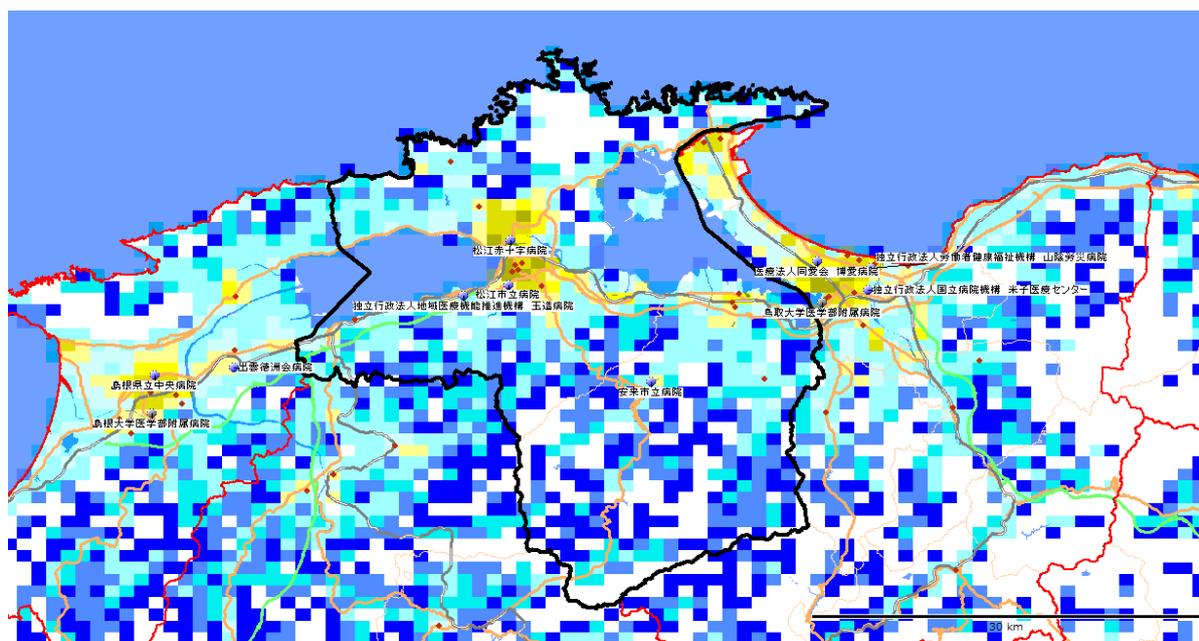
資\_図表 32-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人あたり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
島根県	406	69	1.135	179	68	1.308	204	66	1.047
松江	390	65	1.090	172	66	1.245	194	60	1.000
雲南	418	71	1.123	196	74	1.361	199	63	0.985
出雲	389	65	1.091	162	62	1.173	205	66	1.064
大田	436	76	1.158	194	74	1.333	218	74	1.067
浜田	468	83	1.232	209	79	1.421	238	85	1.154
益田	405	68	1.075	182	69	1.249	199	63	0.972
隠岐	371	60	0.978	175	67	1.189	174	48	0.848
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 32-1. まつえ 松江医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [松江市](#) [安来市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (松江医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 松江(松江市)は、総人口約244千人(2015年推計)、面積994km<sup>2</sup>、人口密度は246人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 松江の総人口は2025年に228千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に197千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の38千人が、2025年にかけて46千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には46千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 松江の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値65)、介護給付費は285千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 松江の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.83、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.36で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が52(病院医師数50、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。松江には、年間全身麻酔件数が2000例以上の松江赤十字病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の松江市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 松江の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4411人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2519床(偏差値56)、高齢者住宅等が1892床(偏差値57)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3494人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム45、軽費ホーム50、グループホーム61、サ高住64である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、562人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

松江医療圏の総人口は、2005年254635人が、2015年に244358人と4%減少し、2025年の人口が227905人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

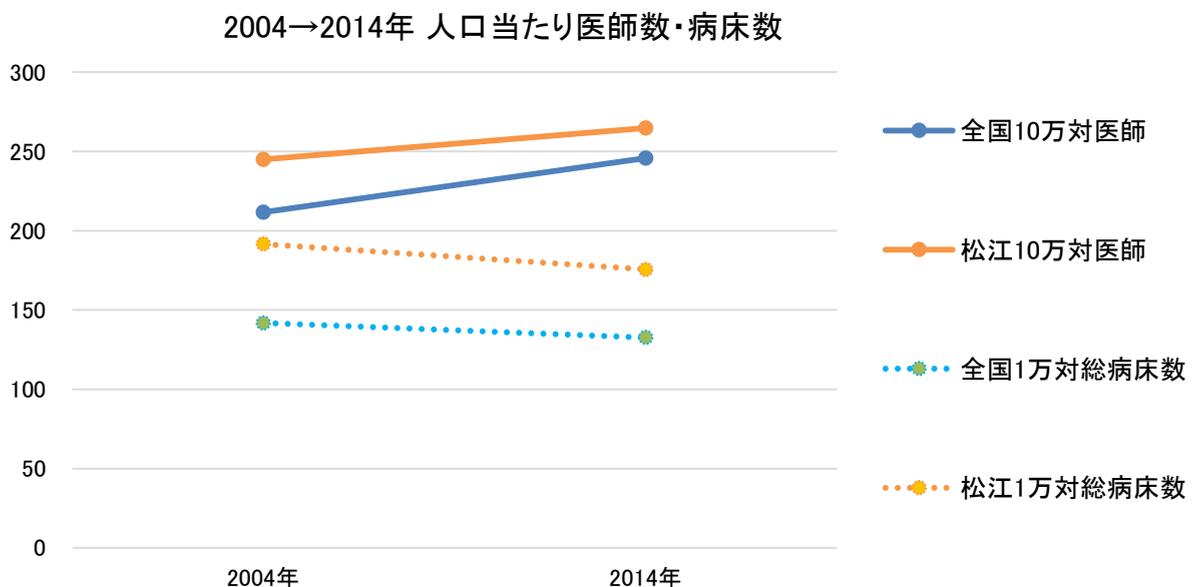
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり8.2病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に16(人口10万人当たり6.5病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が254(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に245(人口10万人当たり100診療所(全国平均79)偏差値61)と、9診療所が減少した。

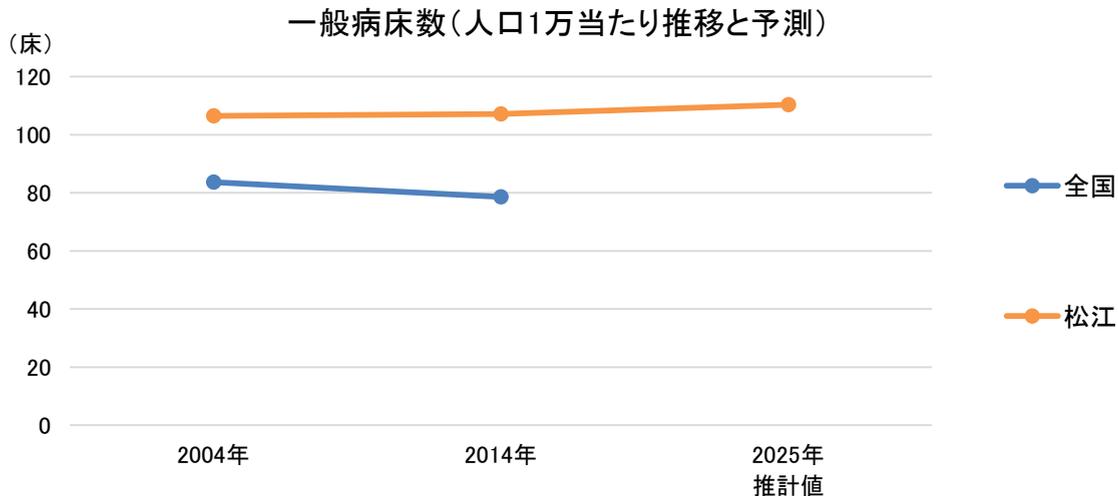
2004年の総病床数が4880床(人口1万人当たり192(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に4289床(人口1万人当たり176(全国平均133)偏差値58)と、591床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が624人(人口10万人当たり245人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に647人(人口10万人当たり265人(全国平均246人)偏差値52)と、23人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



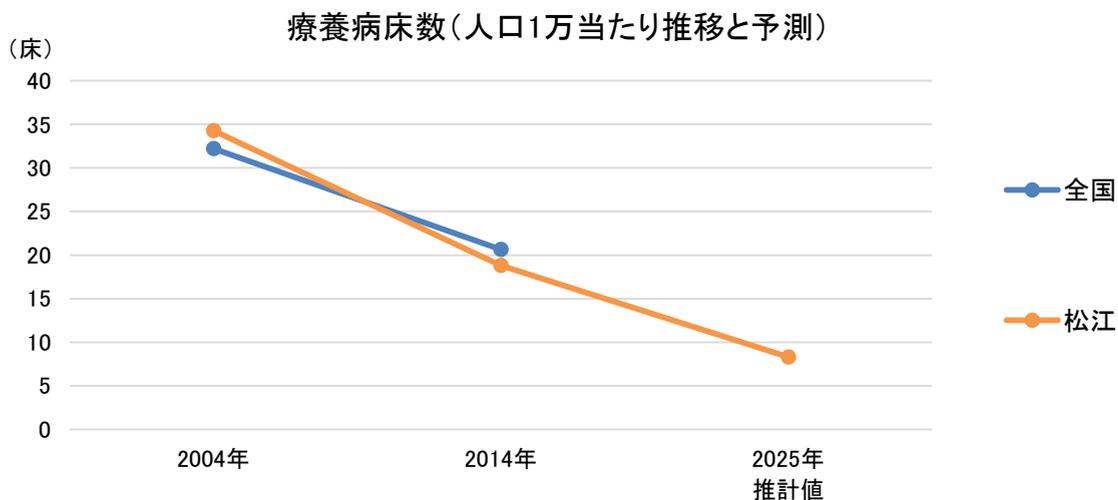
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2712床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に2618床(人口1万人当たり107(全国平均79)偏差値60)と、94床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2515床(2025年の推計人口1万人当たり110)になることが予想される。



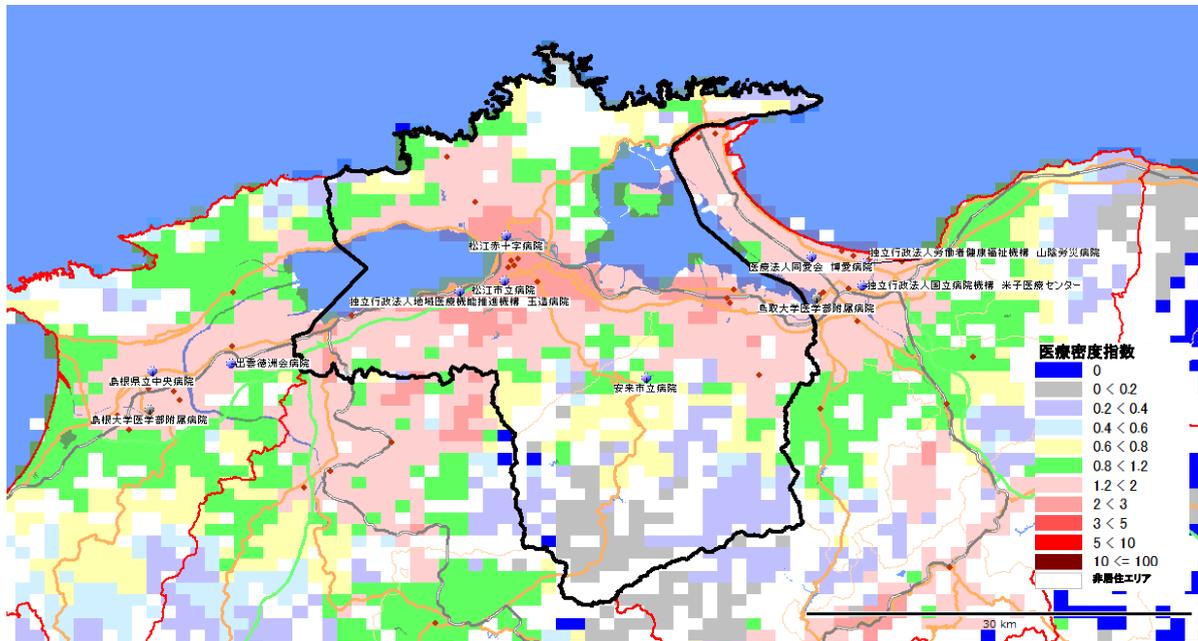
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1007床(75歳以上1000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に709床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、298床の減少、率にして30%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には381床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

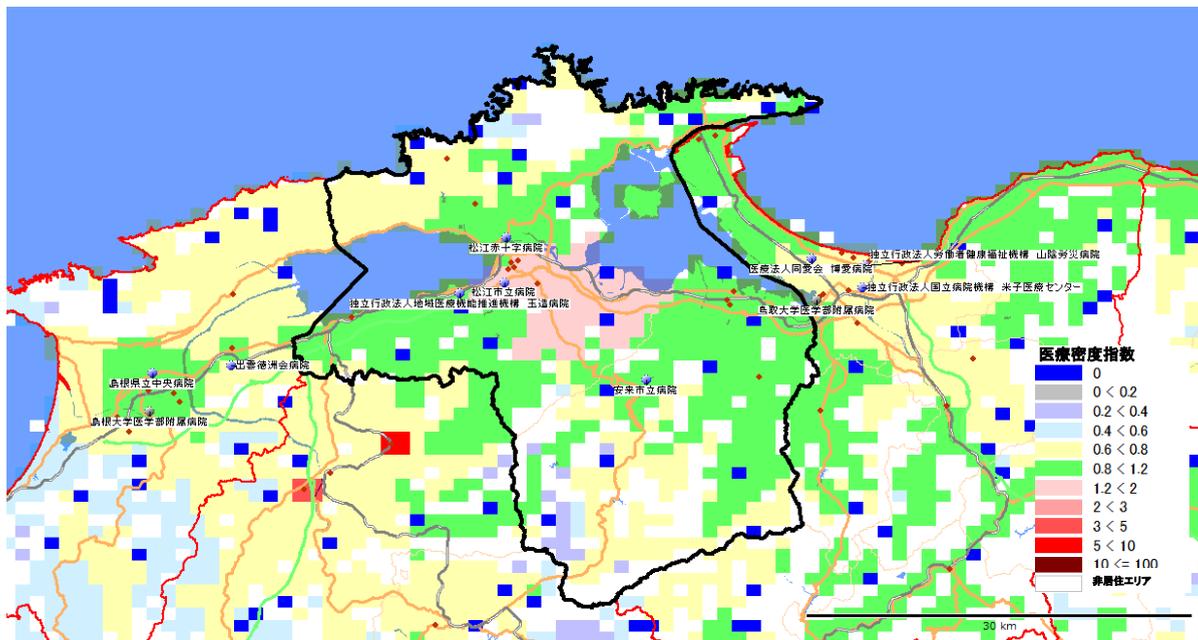


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表32-1-1 急性期医療密度指数マップ



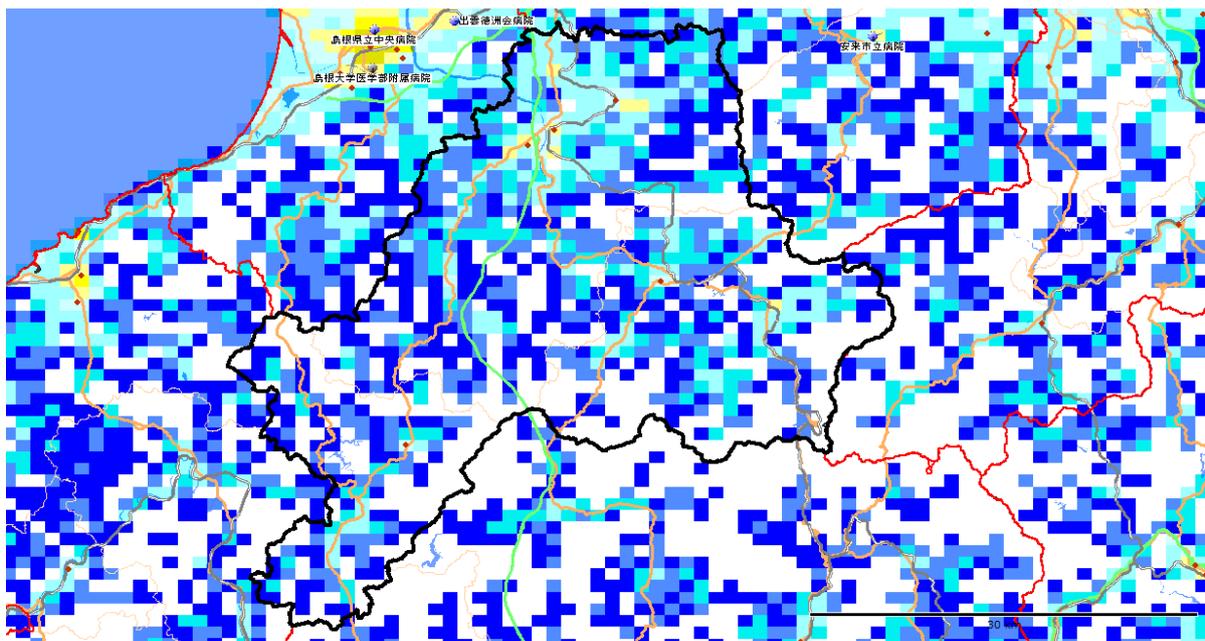
図表32-1-2 慢性期医療密度指数マップ



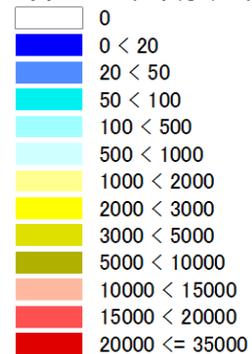
# 32-2. うんなん 雲南医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [雲南市](#)      [奥出雲町](#)      [飯南町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （雲南医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 雲南（雲南市）は、総人口約58千人（2015年推計）、面積1164km<sup>2</sup>、人口密度は50人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 雲南の総人口は2025年に50千人へと減少し（2015年比-14%）、2040年に39千人へと減少する（2025年比-22%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず（2015年比±0%）、2040年には12千人へと減少する（2025年比-8%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 雲南の一人当たり医療費（国保）は391千円（偏差値67）、介護給付費は295千円（偏差値61）であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 雲南の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.23で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が39（病院医師数39、診療所医師数42）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。雲南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 雲南の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、1151人（75歳以上1000人当たりの偏差値42）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が969床（偏差値60）、高齢者住宅等が182床（偏差値33）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、1145人（75歳以上1000人当たりの偏差値58）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム67、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム38、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム44、サ高住38である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員（在宅）の合計は、85人（75歳以上1000人当たりの偏差値37）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

雲南医療圏の総人口は、2005年66194人が、2015年に57753人と13%減少し、2025年の人口が49737人と予測され、2005年→2025年の間に25%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

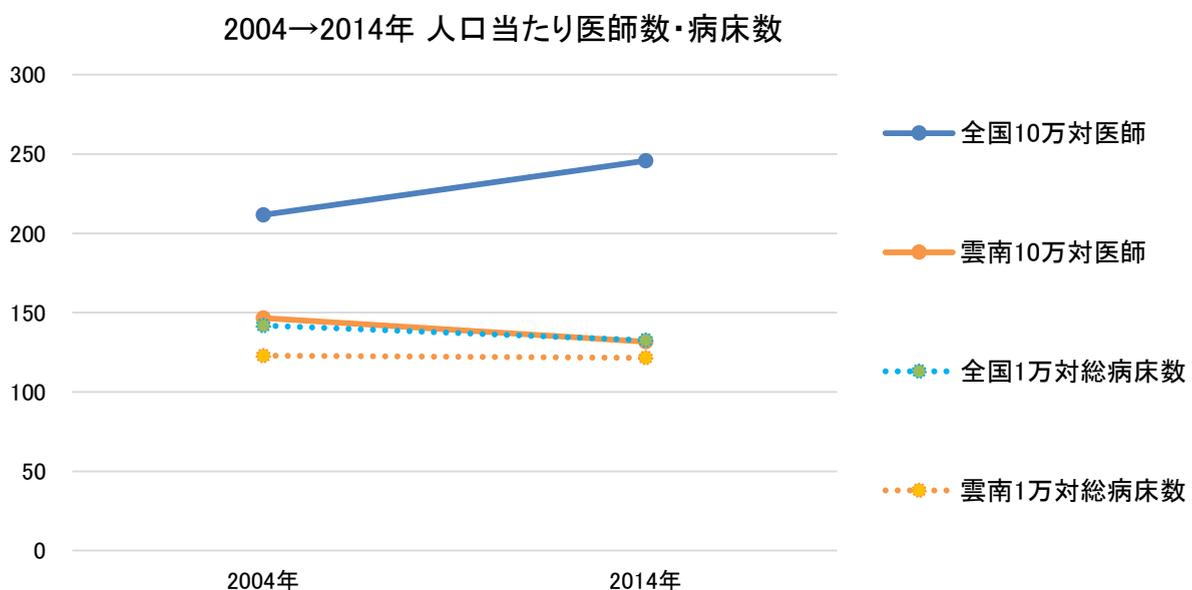
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が5(人口10万人当たり7.6病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に5(人口10万人当たり8.7病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に53(人口10万人当たり92診療所(全国平均79)偏差値56)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が813床(人口1万人当たり123(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に702床(人口1万人当たり122(全国平均133)偏差値48)と、111床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

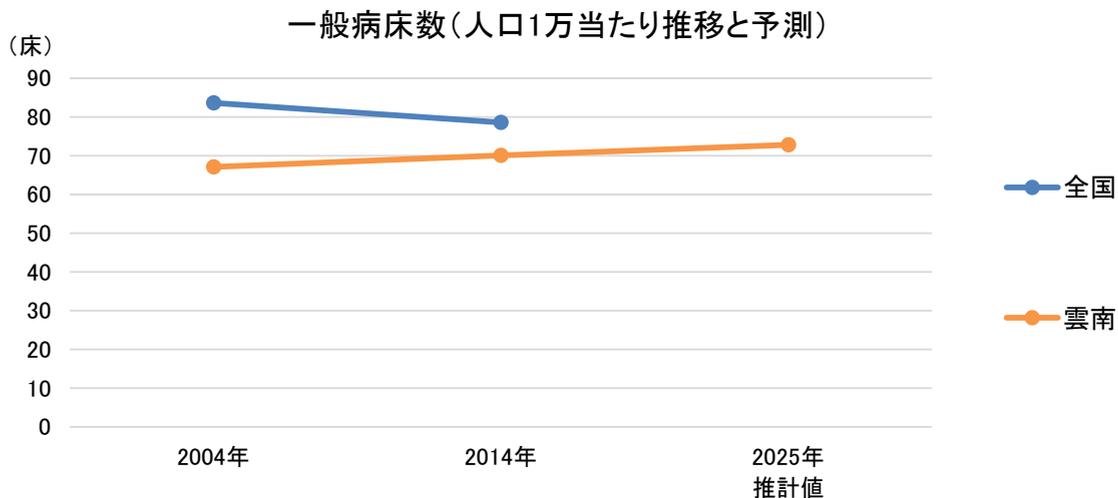
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が97人(人口10万人当たり147人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に76人(人口10万人当たり132人(全国平均246人)偏差値38)と、21人の減少、率にして22%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



## 32. 島根県（2016年版）

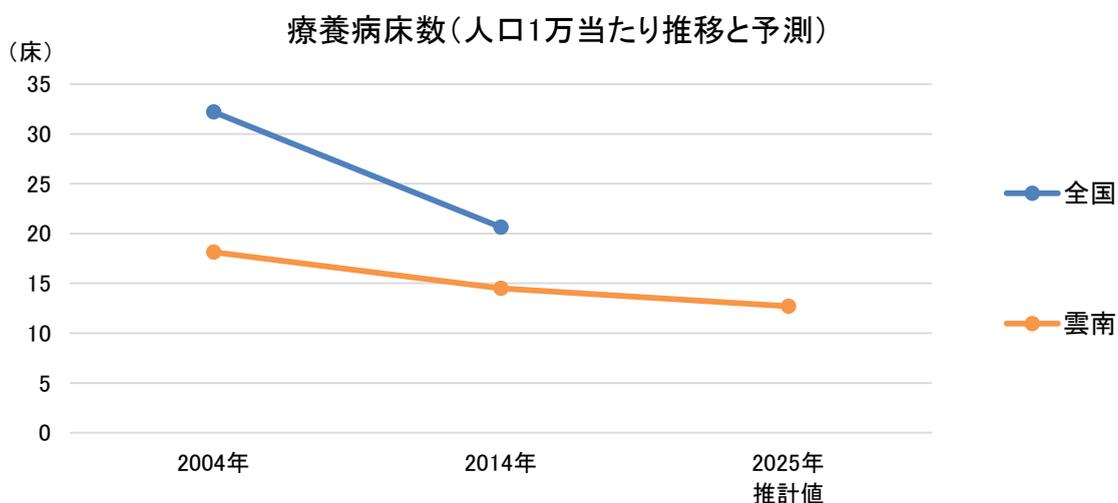
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が444床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に405床(人口1万人当たり70(全国平均79)偏差値47)と、39床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には362床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



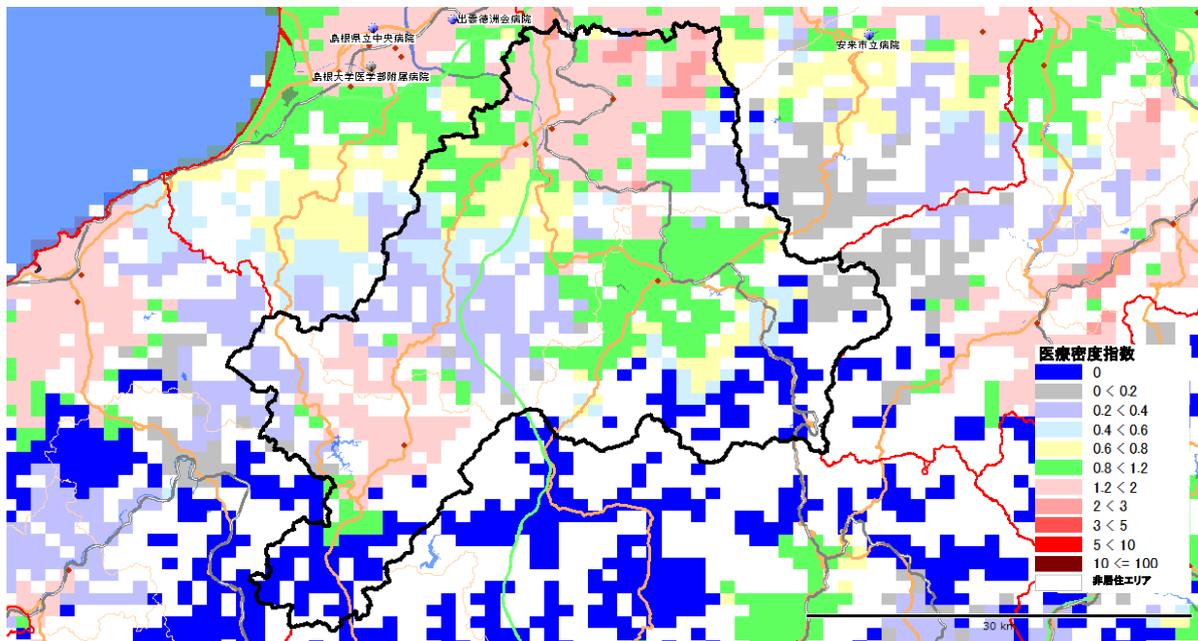
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が215床(75歳以上1000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に193床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、22床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には169床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

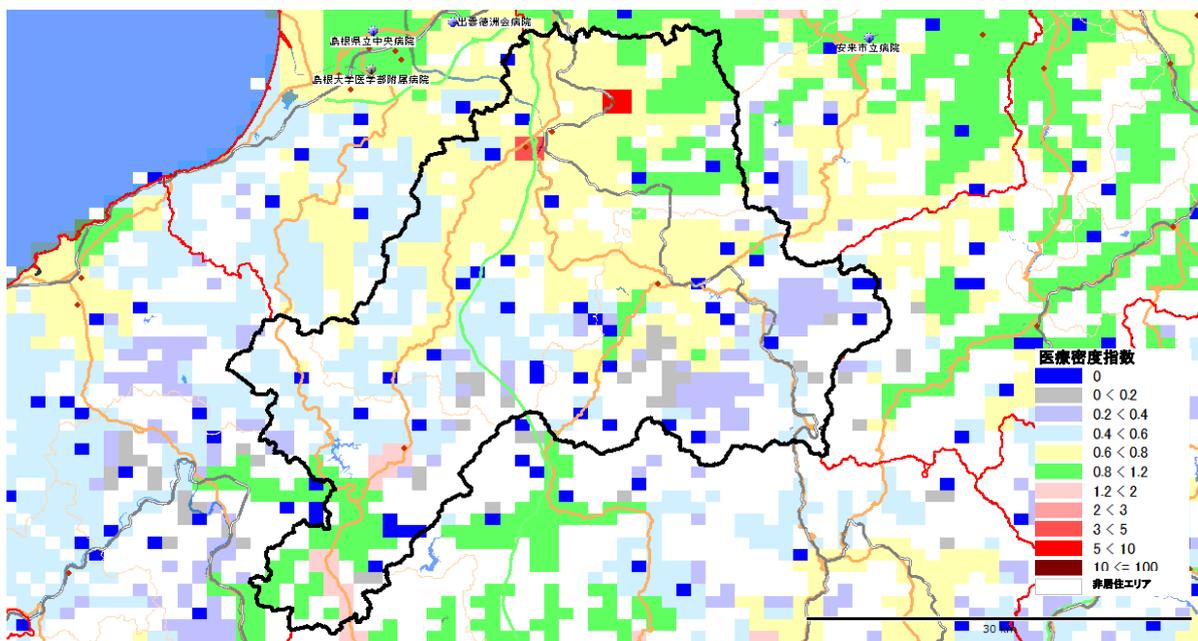


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表32-2-1 急性期医療密度指数マップ



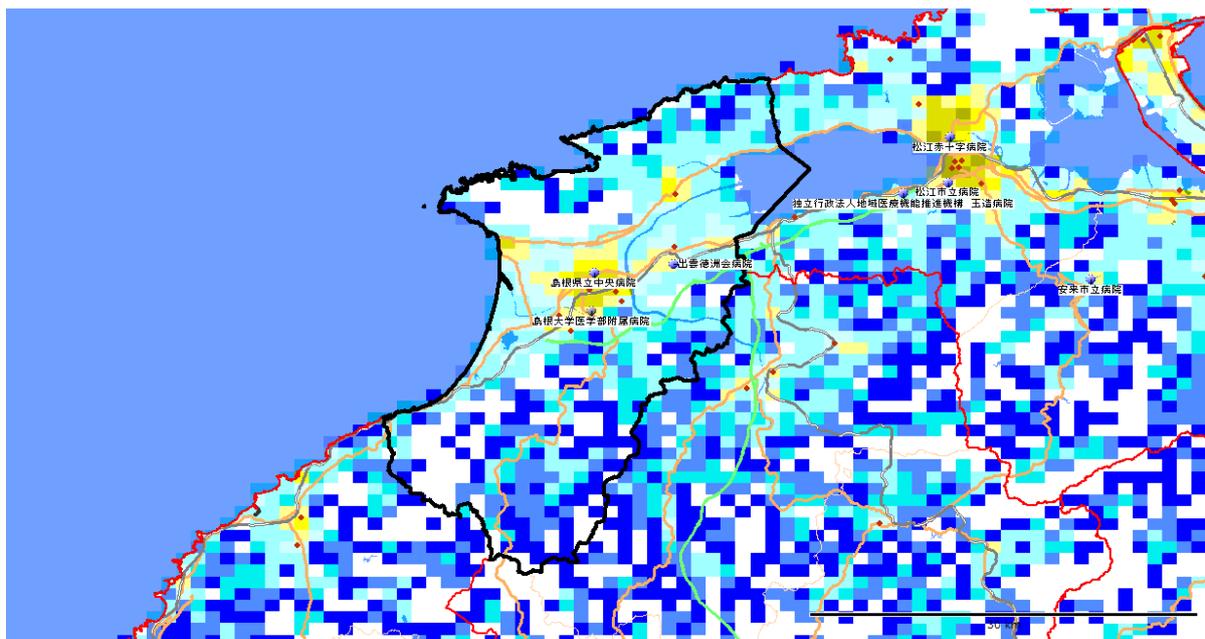
図表32-2-2 慢性期医療密度指数マップ



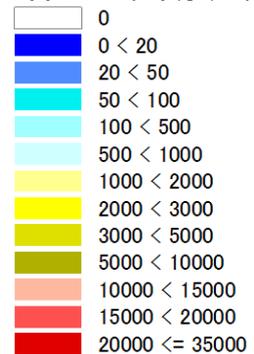
# 32-3. いづも 出雲医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [出雲市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (出雲医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 出雲(出雲市)は、総人口約167千人(2015年推計)、面積624km<sup>2</sup>、人口密度は268人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 出雲の総人口は2025年に157千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に138千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて30千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には30千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 出雲の一人当たり医療費(国保)は375千円(偏差値64)、介護給付費は301千円(偏差値63)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 出雲の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.17、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.31で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が72(病院医師数77、診療所医師数57)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は66と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は67と非常に多い。出雲には、年間全身麻酔件数が2000例以上の島根大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の島根県立中央病院(III群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 出雲の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3000人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1652床(偏差値52)、高齢者住宅等が1348床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2639人(75歳以上1000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム50、軽費ホーム57、グループホーム64、サ高住53である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、328人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

出雲医療圏の総人口は、2005年173751人が、2015年に167323人と4%減少し、2025年の人口が156545人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

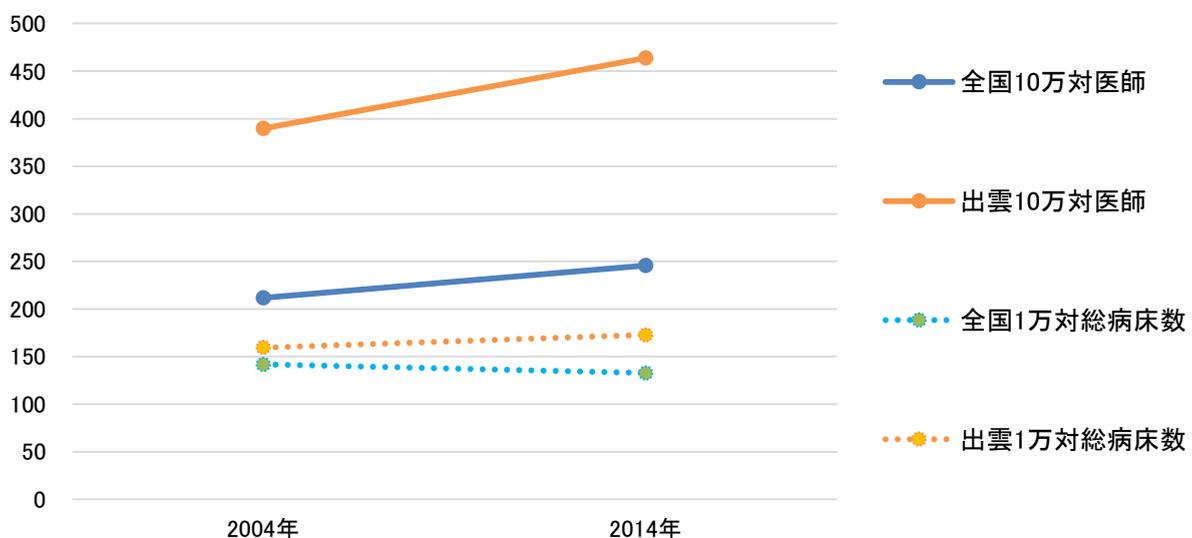
2004年の病院数が9(人口10万人当たり5.2病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に11(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が172(人口10万人当たり99診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に163(人口10万人当たり97診療所(全国平均79)偏差値59)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が2772床(人口1万人当たり160(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に2890床(人口1万人当たり173(全国平均133)偏差値57)と、118床の増加、率にして4%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

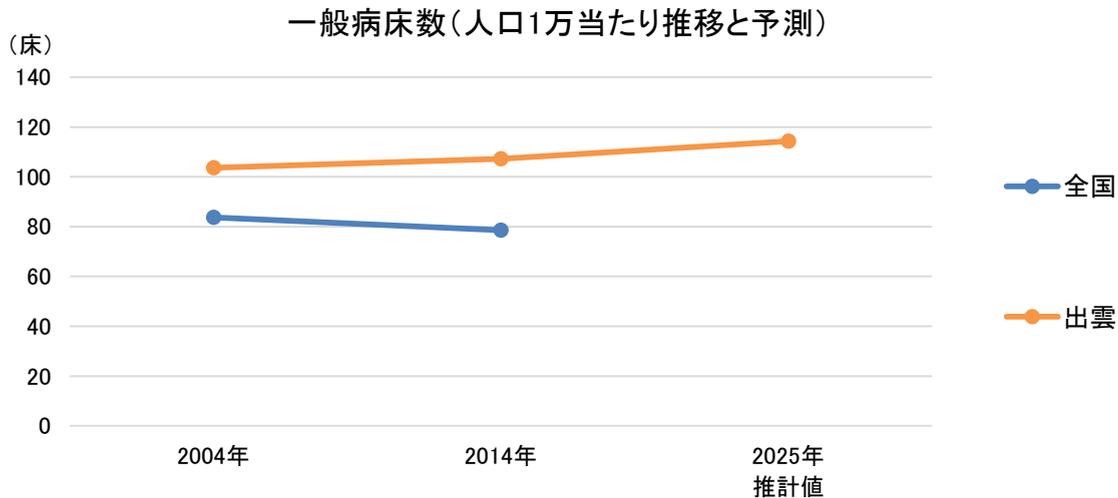
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が677人(人口10万人当たり390人(全国平均212人)偏差値71)であったが、2014年に776人(人口10万人当たり464人(全国平均246人)偏差値72)と、99人の増加、率にして15%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



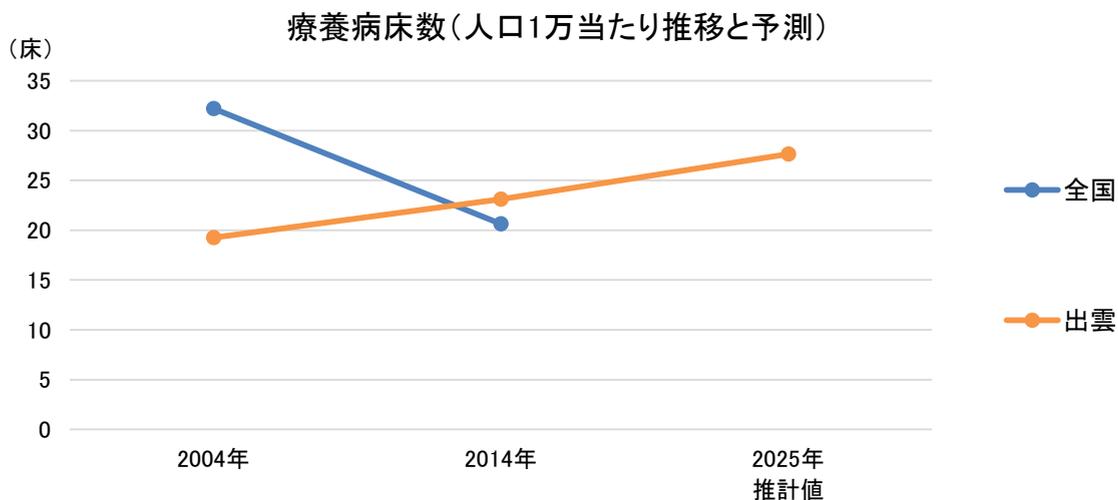
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1800床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に1795床(人口1万人当たり107(全国平均79)偏差値61)と、5床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1790床(2025年の推計人口1万人当たり114)になることが予想される。



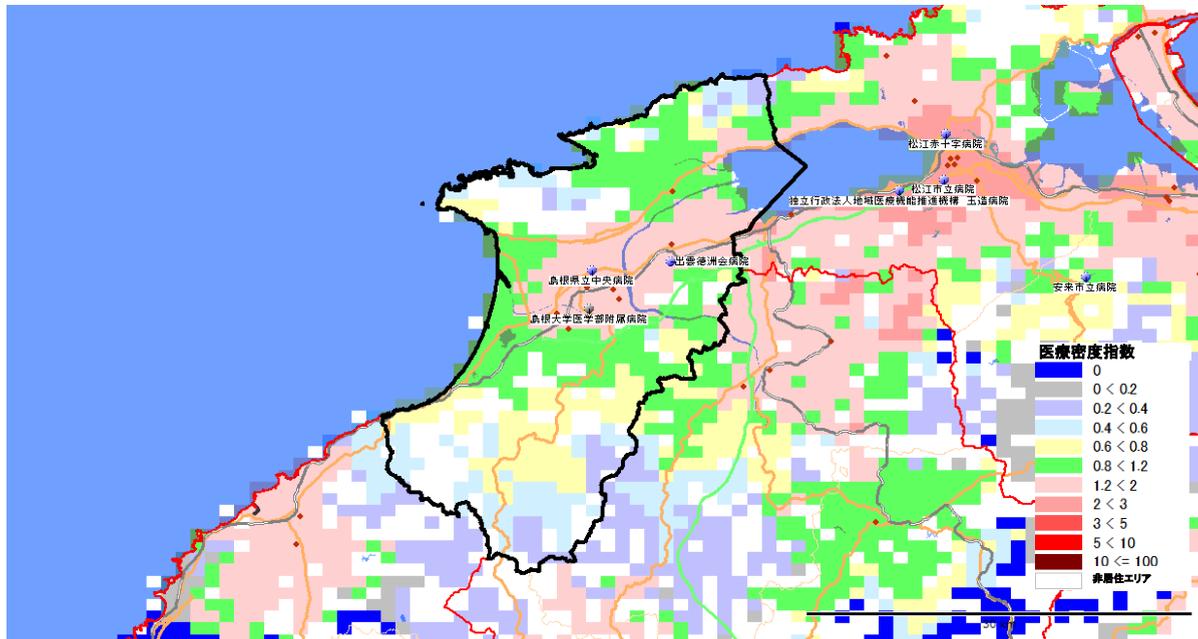
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が405床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に611床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、206床の増加、率にして51%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には838床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。

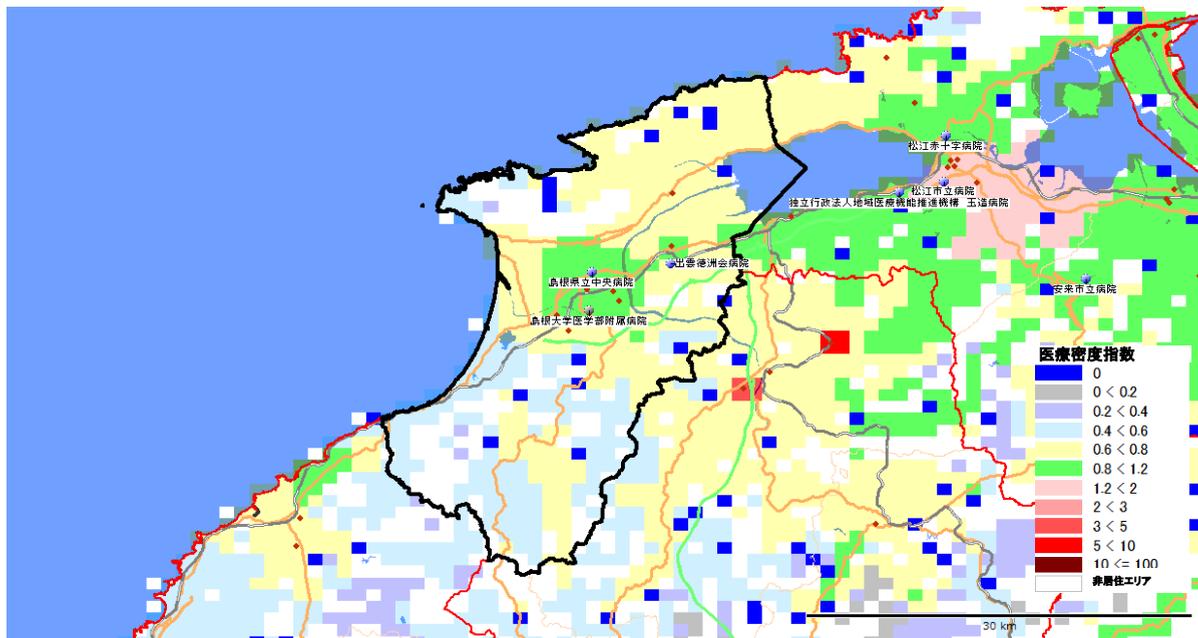


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表32-3-1 急性期医療密度指数マップ



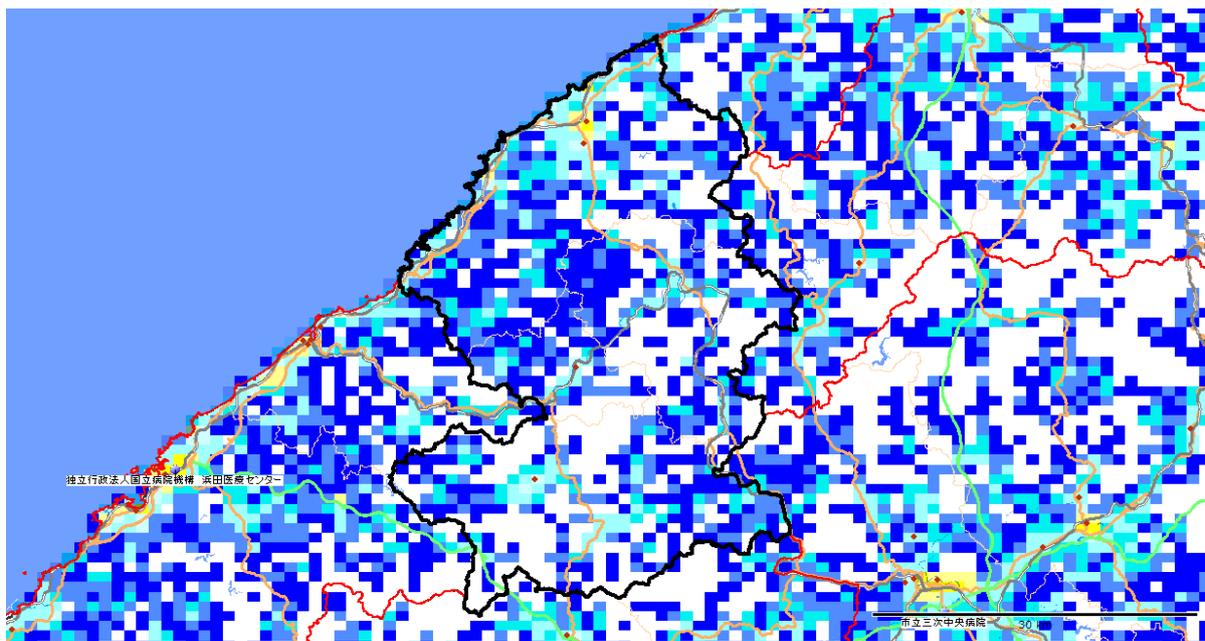
図表32-3-2 慢性期医療密度指数マップ



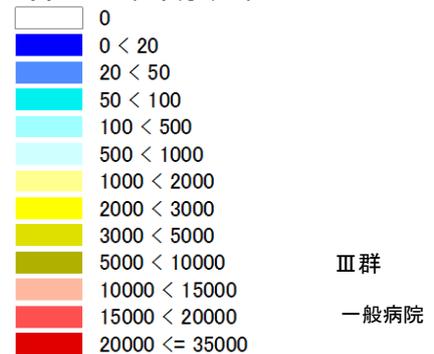
# 32-4. おおた 大田医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [大田市](#)      [川本町](#)      [美郷町](#)      [邑南町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



## （大田医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 大田(大田市)は、総人口約55千人(2015年推計)、面積1245km<sup>2</sup>、人口密度は44人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 大田の総人口は2025年に46千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に36千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 大田の一人当たり医療費(国保)は419千円(偏差値74)、介護給付費は347千円(偏差値75)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 大田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.24で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数40、診療所医師数59)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は32と非常に少ない。大田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は77で診療所数は非常に多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 大田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1371人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1027床(偏差値65)、高齢者住宅等が344床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1191人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム52、サ高住45である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、122人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+30%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

大田医療圏の総人口は、2005年63882人が、2015年に54643人と14%減少し、2025年の人口が46218人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

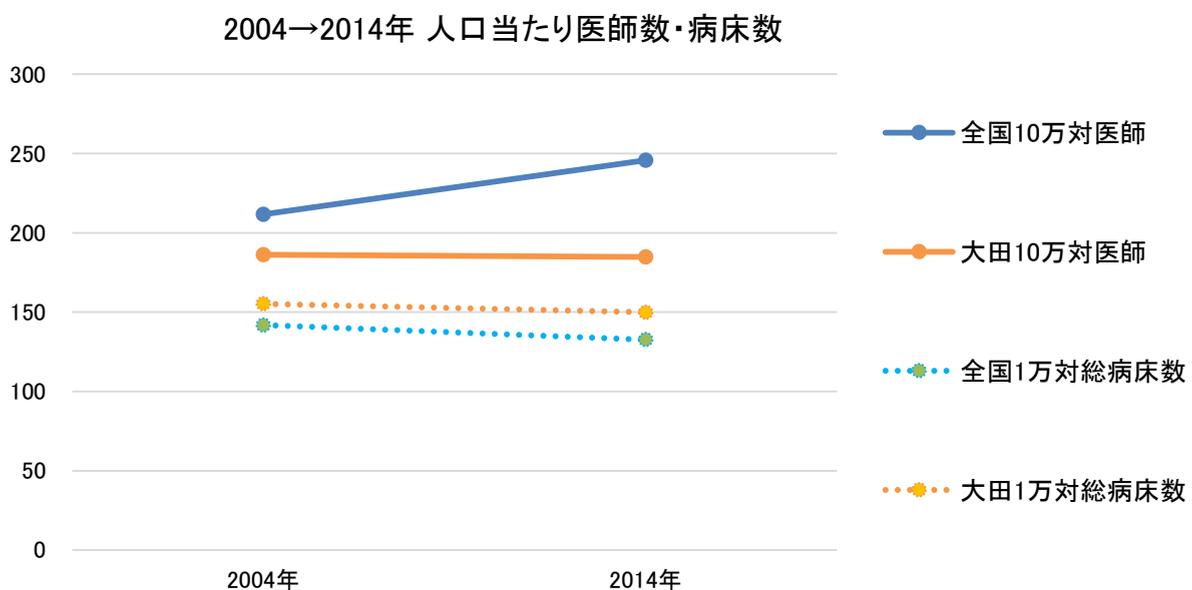
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が5(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に4(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり133診療所(全国平均76)偏差値78)であったが、2014年に72(人口10万人当たり132診療所(全国平均79)偏差値77)と、13診療所が減少した。

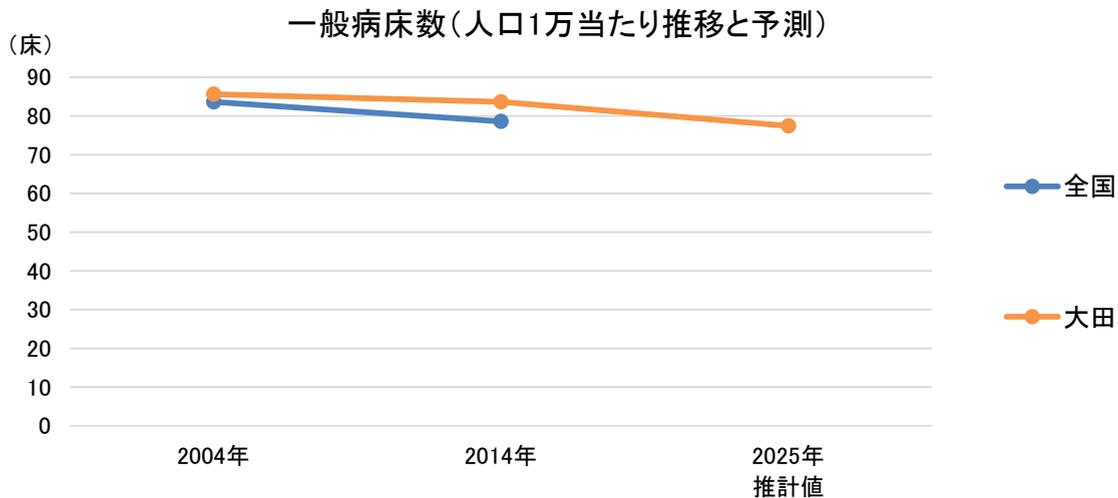
2004年の総病床数が992床(人口1万人当たり155(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に819床(人口1万人当たり150(全国平均133)偏差値53)と、173床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が119人(人口10万人当たり186人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に101人(人口10万人当たり185人(全国平均246人)偏差値44)と、18人の減少、率にして15%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



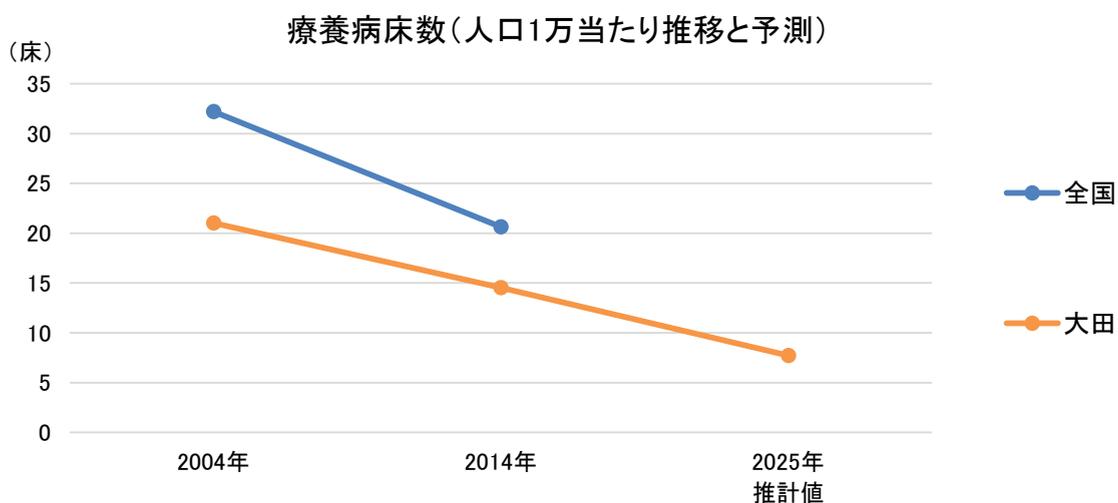
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が547床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に457床(人口1万人当たり84(全国平均79)偏差値52)と、90床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には358床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



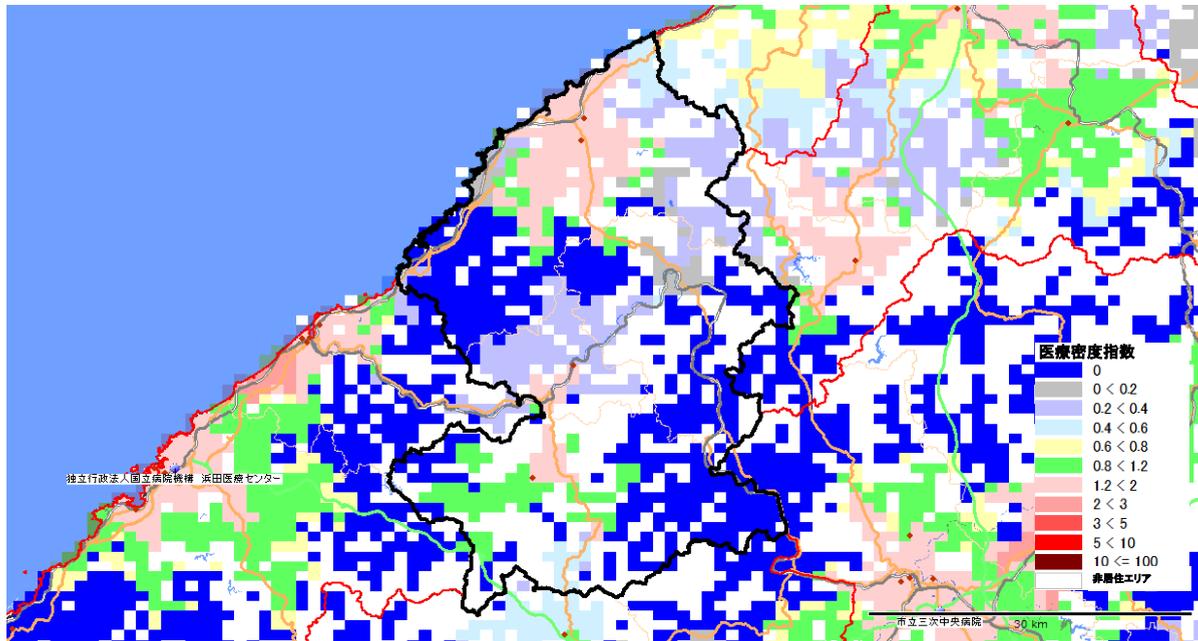
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が273床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に190床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、83床の減少、率にして30%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には99床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

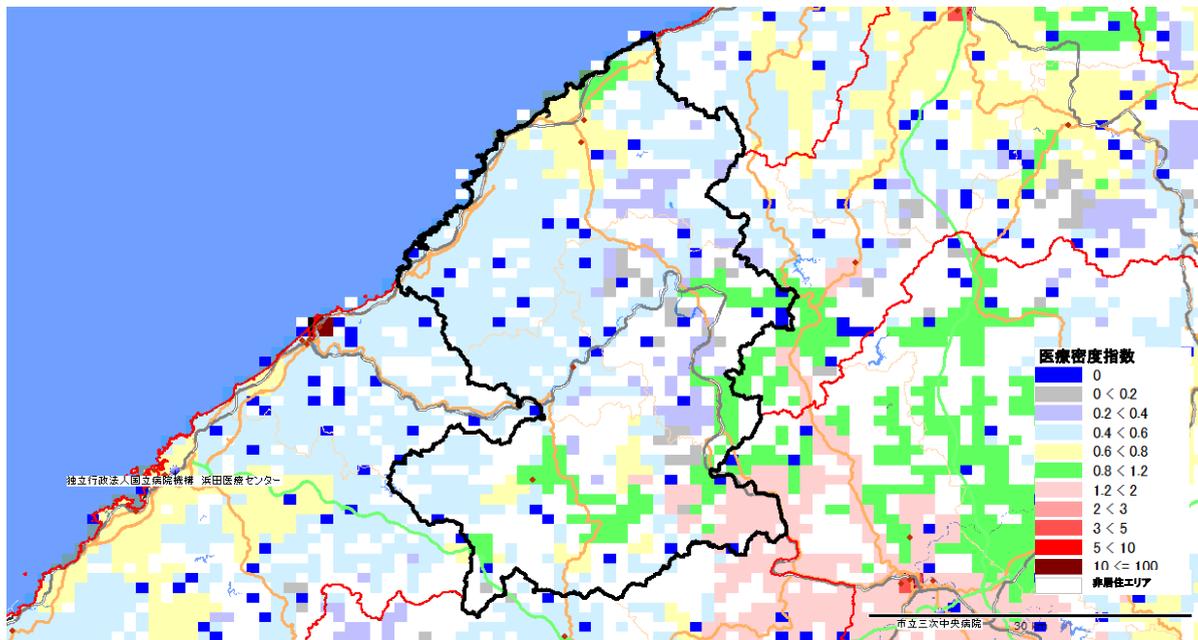


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表32-4-1 急性期医療密度指数マップ



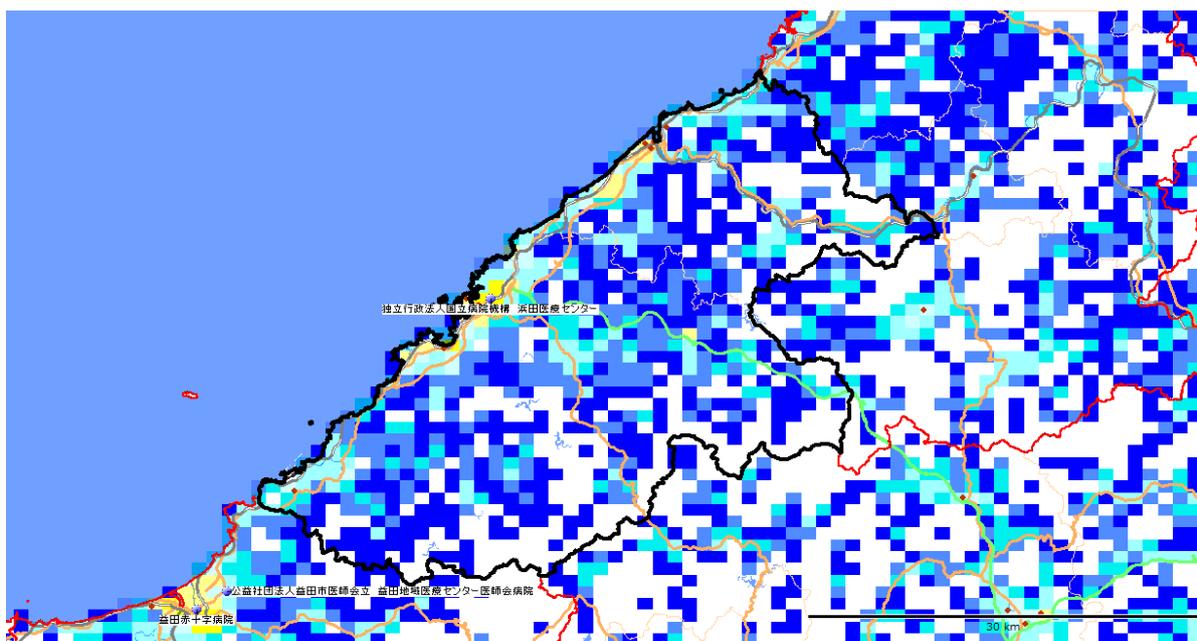
図表32-4-2 慢性期医療密度指数マップ



# 32-5. はまだ 浜田医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [浜田市](#) [江津市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (浜田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 浜田(浜田市)は、総人口約82千人(2015年推計)、面積958km<sup>2</sup>、人口密度は86人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 浜田の総人口は2025年に72千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に57千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて16千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には15千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 浜田の一人当たり医療費(国保)は442千円(偏差値80)、介護給付費は356千円(偏差値78)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 浜田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.9で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は63と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。浜田には、年間全身麻酔件数が500例以上の国立病院機構浜田医療センター(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値62と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は69で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 浜田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1548人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1177床(偏差値63)、高齢者住宅等が371床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1450人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値68と非常に多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、271人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+20%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

浜田医療圏の総人口は、2005年90820人が、2015年に81997人と10%減少し、2025年の人口が71685人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

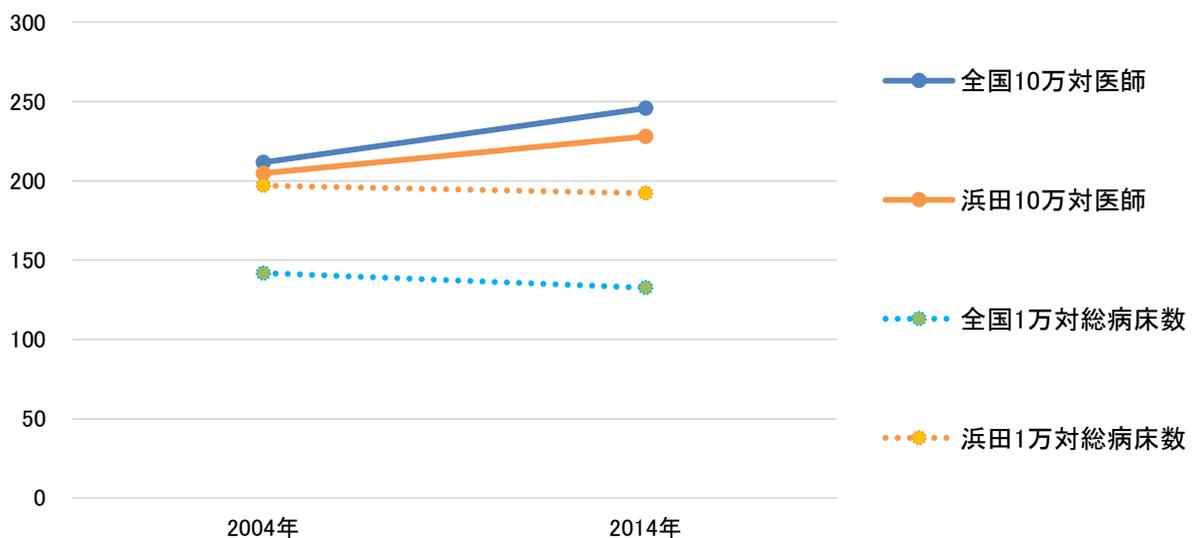
2004年の病院数が11(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に9(人口10万人当たり11病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が101(人口10万人当たり111診療所(全国平均76)偏差値68)であったが、2014年に95(人口10万人当たり116診療所(全国平均79)偏差値69)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が1790床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に1576床(人口1万人当たり192(全国平均133)偏差値61)と、214床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

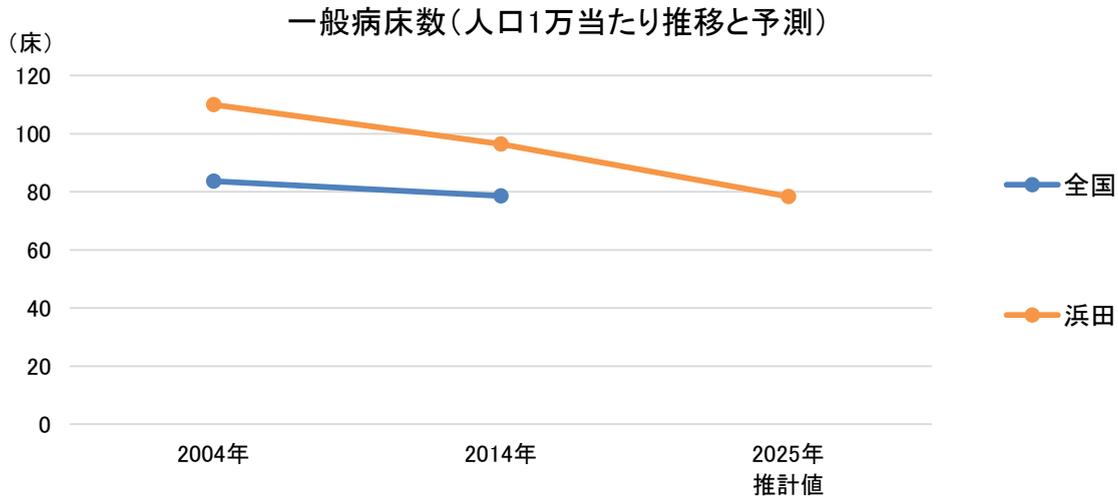
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が186人(人口10万人当たり205人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に187人(人口10万人当たり228人(全国平均246人)偏差値48)と、1人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



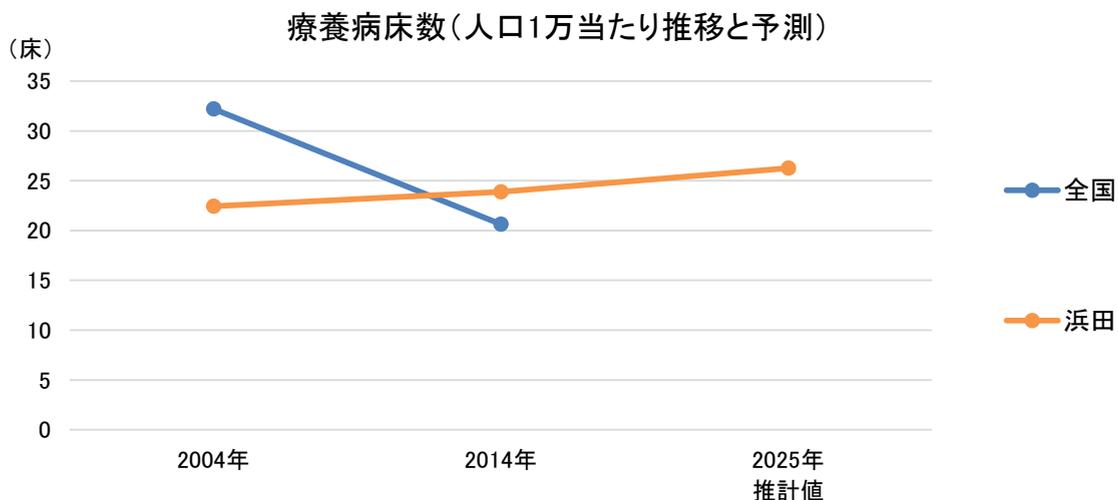
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が999床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に791床(人口1万人当たり96(全国平均79)偏差値57)と、208床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には562床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



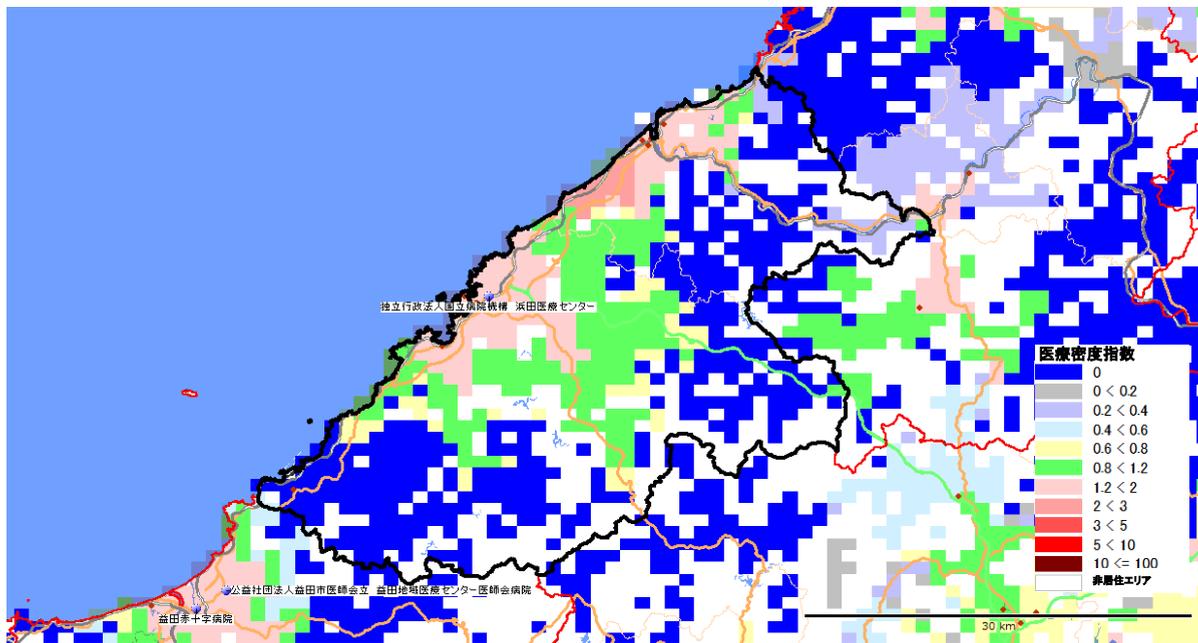
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が317床(75歳以上1000人当たり22(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に371床(75歳以上1000人当たり24(全国平均21)偏差値53)と、54床の増加、率にして17%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には430床(2025年の推計75歳以上1000人当たり26)になることが予想される。

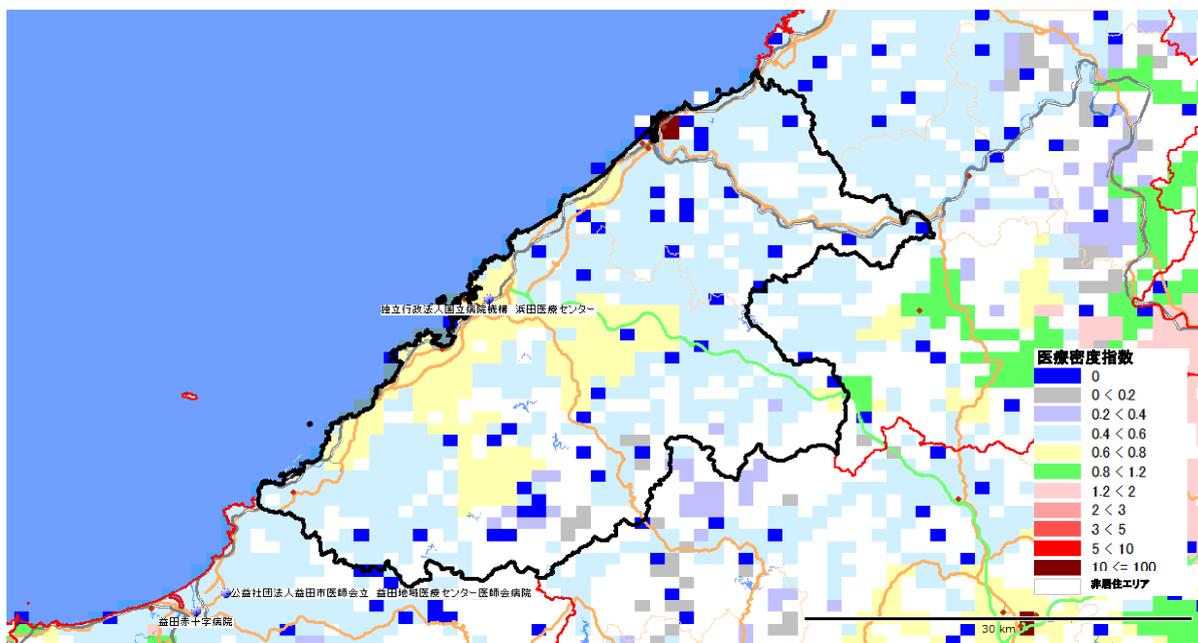


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表32-5-1 急性期医療密度指数マップ



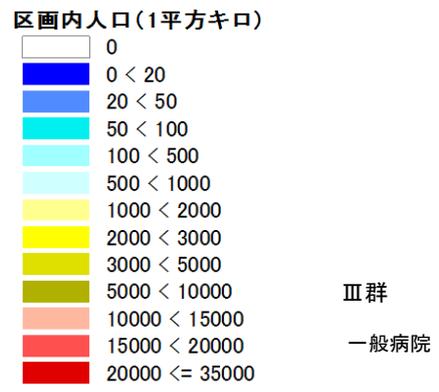
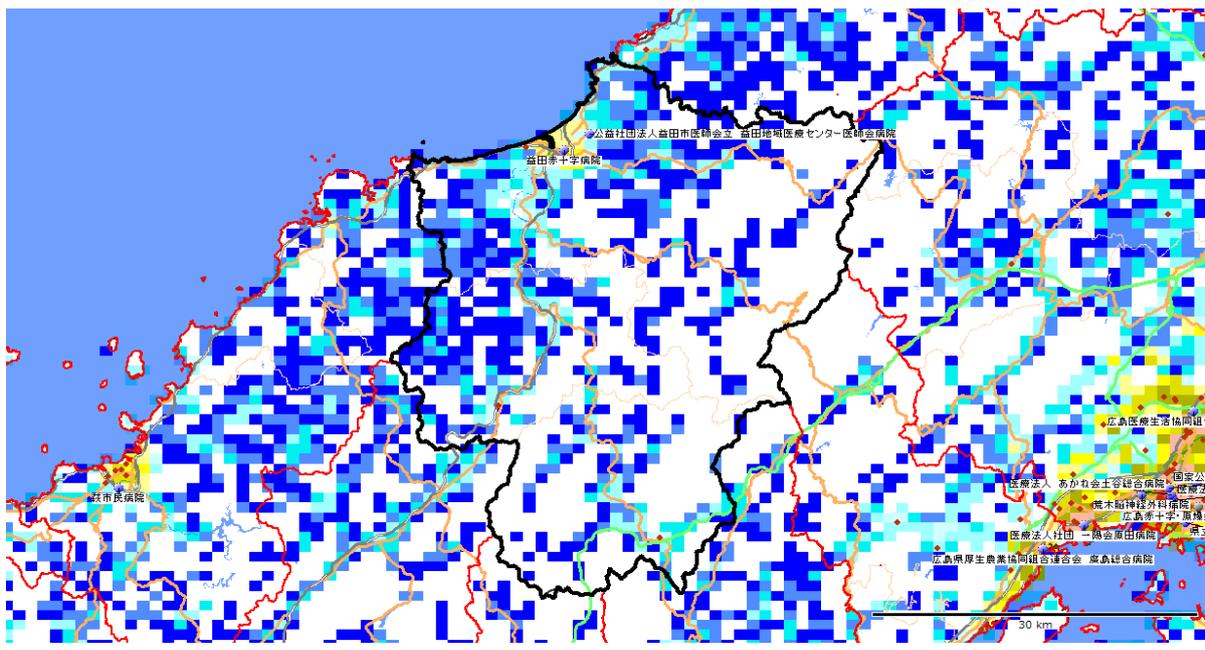
図表32-5-2 慢性期医療密度指数マップ



# 32-6. ますだ 益田医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [益田市](#)      [津和野町](#)      [吉賀町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## （益田医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 益田(益田市)は、総人口約61千人(2015年推計)、面積1377km<sup>2</sup>、人口密度は44人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 益田の総人口は2025年に53千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に41千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 益田の一人当たり医療費(国保)は399千円(偏差値70)、介護給付費は297千円(偏差値62)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 益田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.9、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は3.02で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が51(病院医師数46、診療所医師数62)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は61と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。益田には、年間全身麻酔件数が500例以上の益田赤十字病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は71で診療所数は非常に多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 益田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1337人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が936床(偏差値61)、高齢者住宅等が401床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1074人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム40、軽費ホーム89、グループホーム53、サ高住38である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、97人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+22%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

益田医療圏の総人口は、2005年69245人が、2015年に61060人と12%減少し、2025年の人口が52924人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

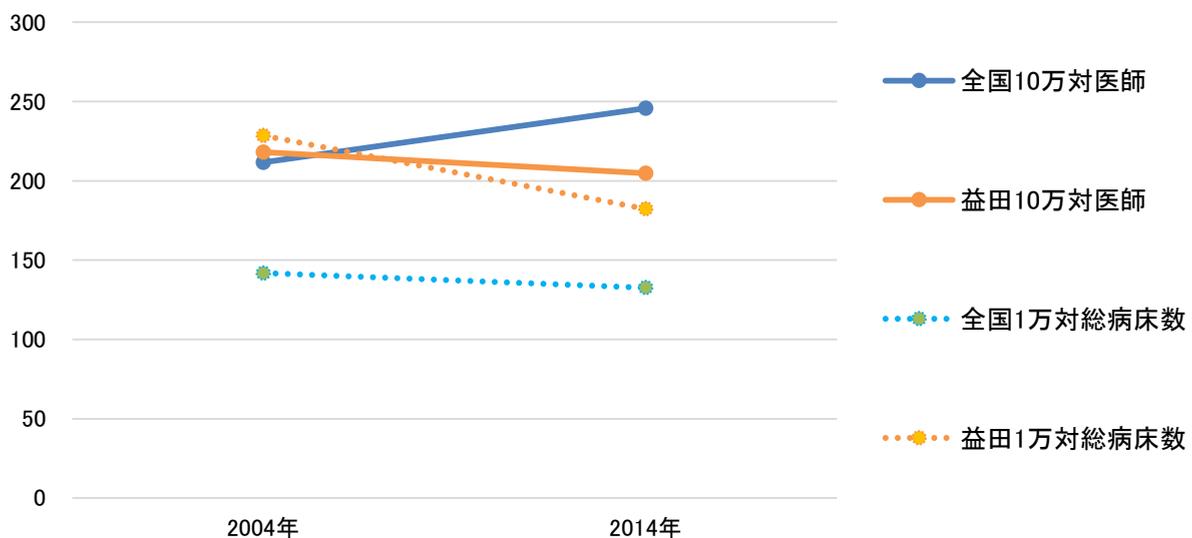
2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に5(人口10万人当たり8.2病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が73(人口10万人当たり105診療所(全国平均76)偏差値65)であったが、2014年に74(人口10万人当たり121診療所(全国平均79)偏差値71)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数が1583床(人口1万人当たり229(全国平均142)偏差値65)であったが、2014年に1113床(人口1万人当たり182(全国平均133)偏差値59)と、470床の減少、率にして30%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

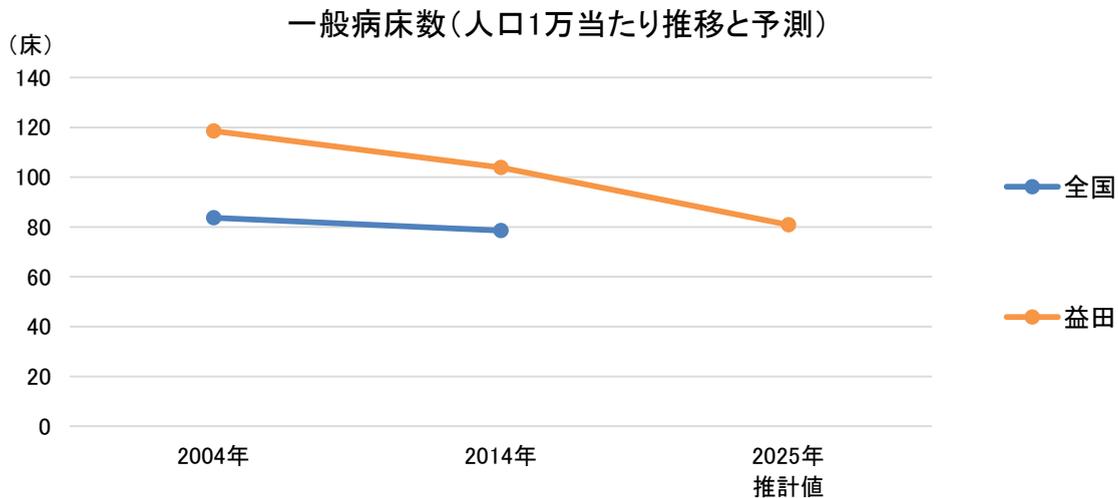
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が151人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に125人(人口10万人当たり205人(全国平均246人)偏差値46)と、26人の減少、率にして17%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



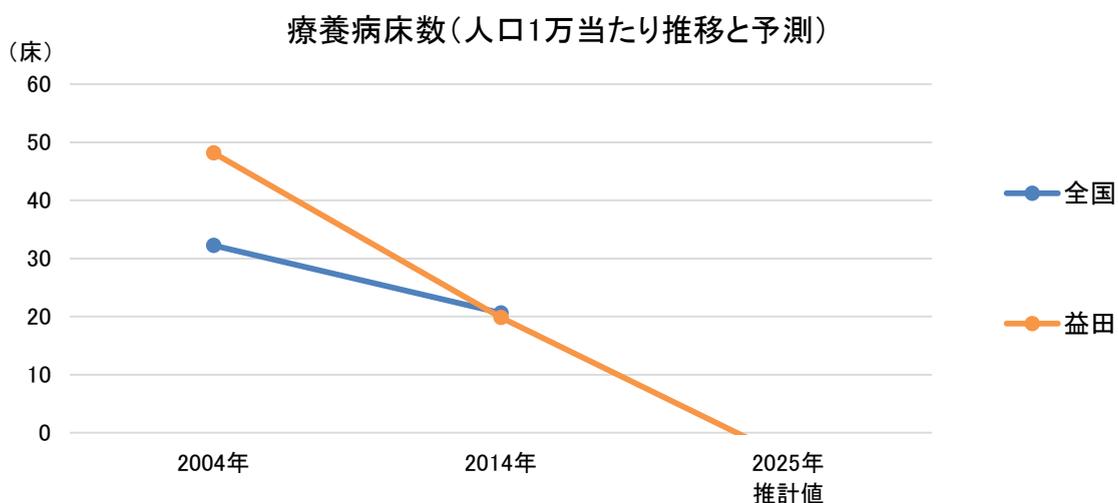
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が821床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に634床(人口1万人当たり104(全国平均79)偏差値59)と、187床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には428床(2025年の推計人口1万人当たり81)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が535床(75歳以上1000人当たり48(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に252床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、283床の減少、率にして53%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-59床(2025年の推計75歳以上1000人当たり-4)になることが予想される。

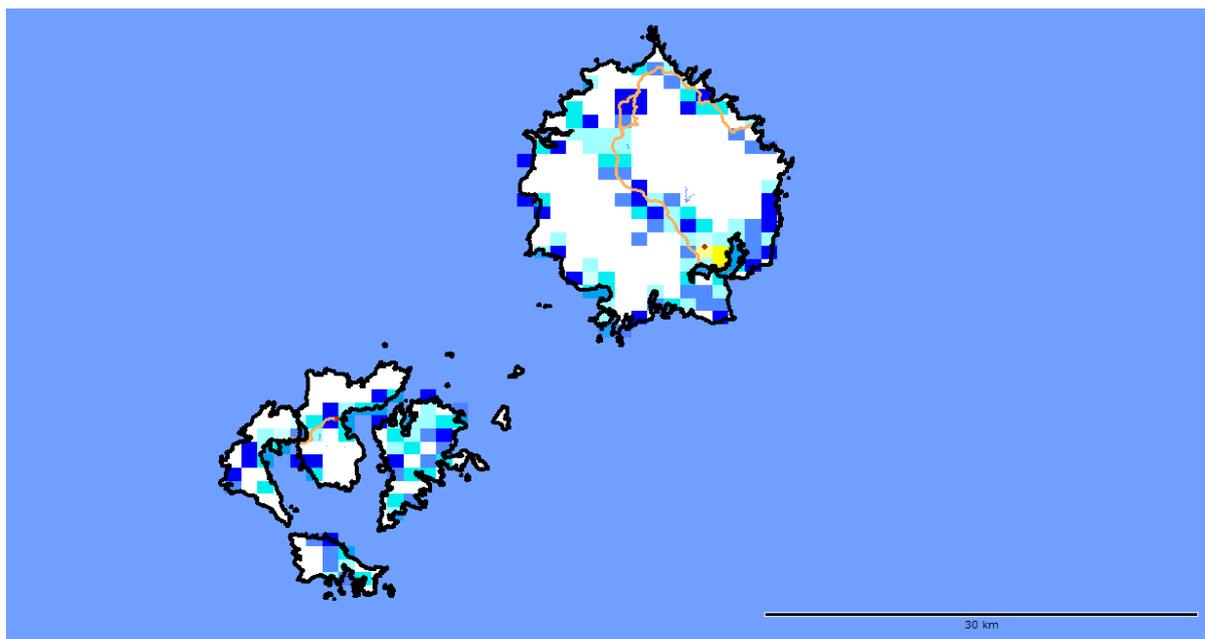




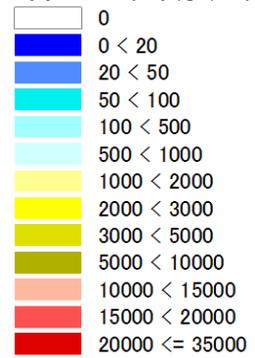
# 32-7. お き 隠岐医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [海士町](#)      [西ノ島町](#)      [知夫村](#)      [隠岐の島町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (隠岐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 隠岐(隠岐郡海士町)は、総人口約20千人(2015年推計)、面積346km<sup>2</sup>、人口密度は58人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 隠岐の総人口は2025年に17千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に13千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 隠岐の一人当たり医療費(国保)は380千円(偏差値65)、介護給付費は354千円(偏差値77)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 隠岐の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.5、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.69で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40(病院医師数43、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。隠岐には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 隠岐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、428人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が356床(偏差値64)、高齢者住宅等が72床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、511人(75歳以上1000人当たりの偏差値80)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム75、介護療養型医療施設48、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム57、サ高住なし(偏差値31)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値141と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、43人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+18%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

隠岐医療圏の総人口は、2005年23696人が、2015年に19971人と16%減少し、2025年の人口が16868人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

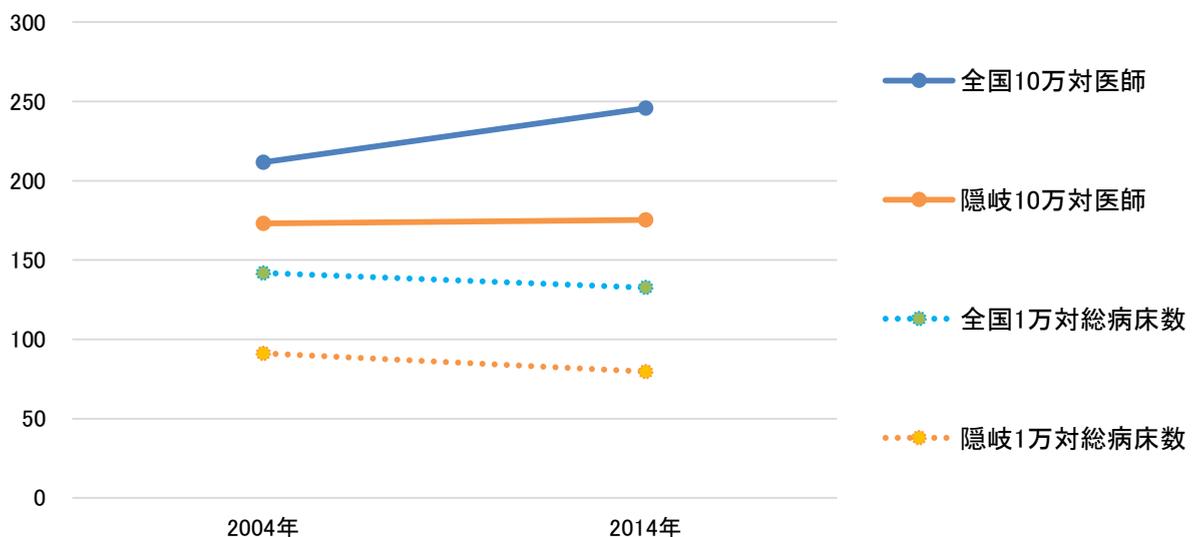
2004年の病院数が2(人口10万人当たり8.4病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に2(人口10万人当たり10病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が27(人口10万人当たり114診療所(全国平均76)偏差値69)であったが、2014年に21(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値63)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が216床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に159床(人口1万人当たり80(全国平均133)偏差値41)と、57床の減少、率にして26%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

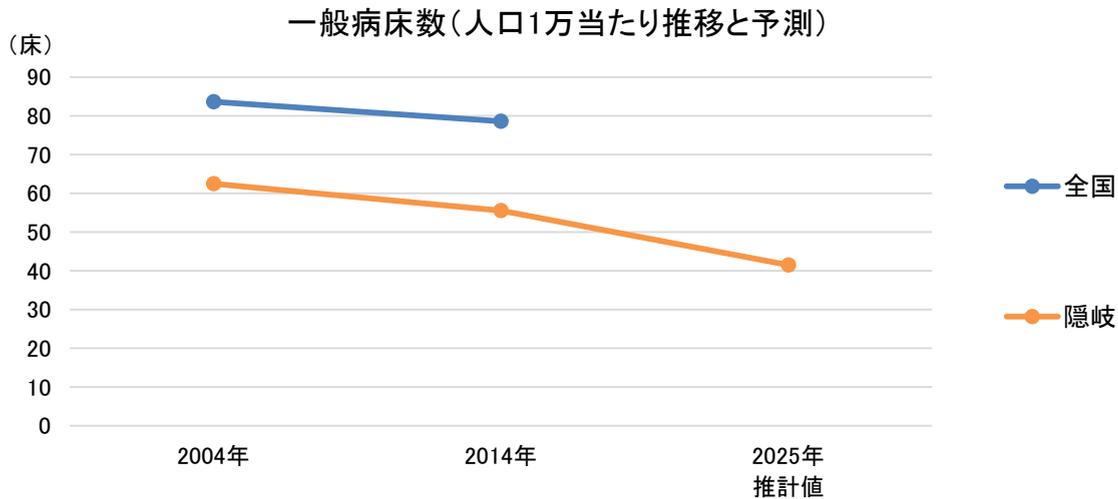
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が41人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に35人(人口10万人当たり175人(全国平均246人)偏差値43)と、6人の減少、率にして15%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



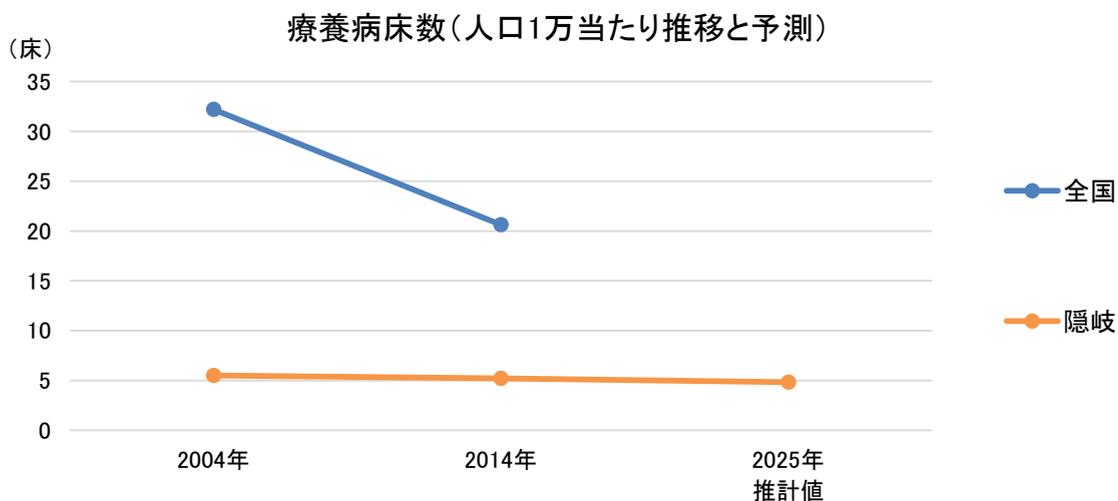
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が148床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2014年に111床(人口1万人当たり56(全国平均79)偏差値42)と、37床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には70床(2025年の推計人口1万人当たり41)になることが予想される。



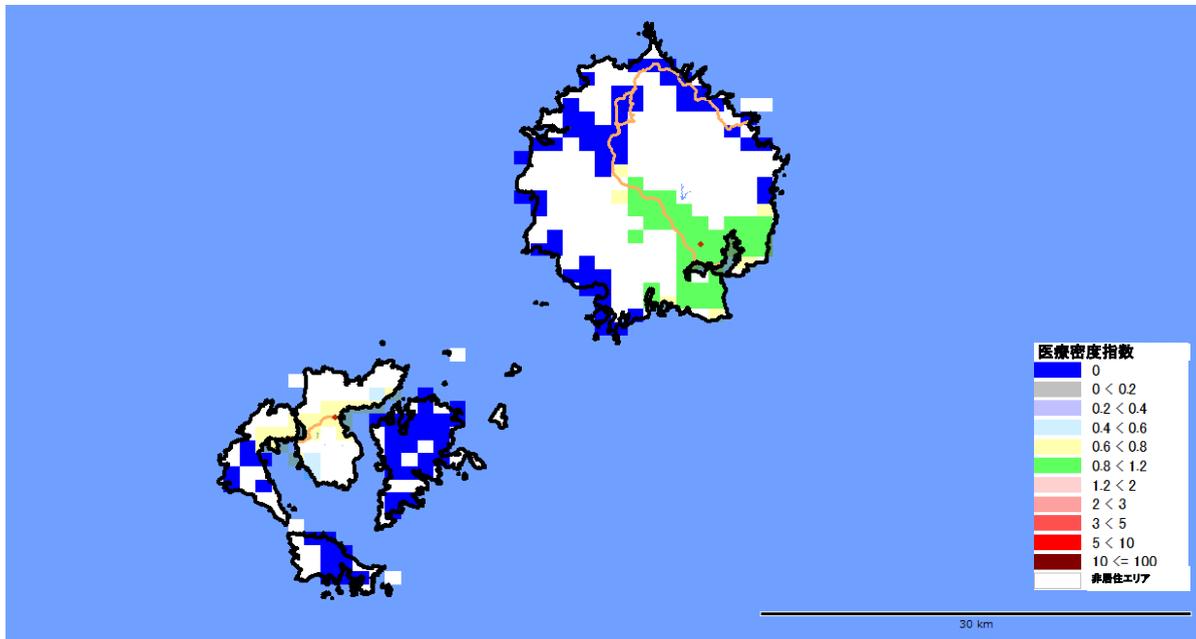
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が24床(75歳以上1000人当たり5(全国平均32)偏差値35)であったが、2014年に24床(75歳以上1000人当たり5(全国平均21)偏差値37)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には24床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。

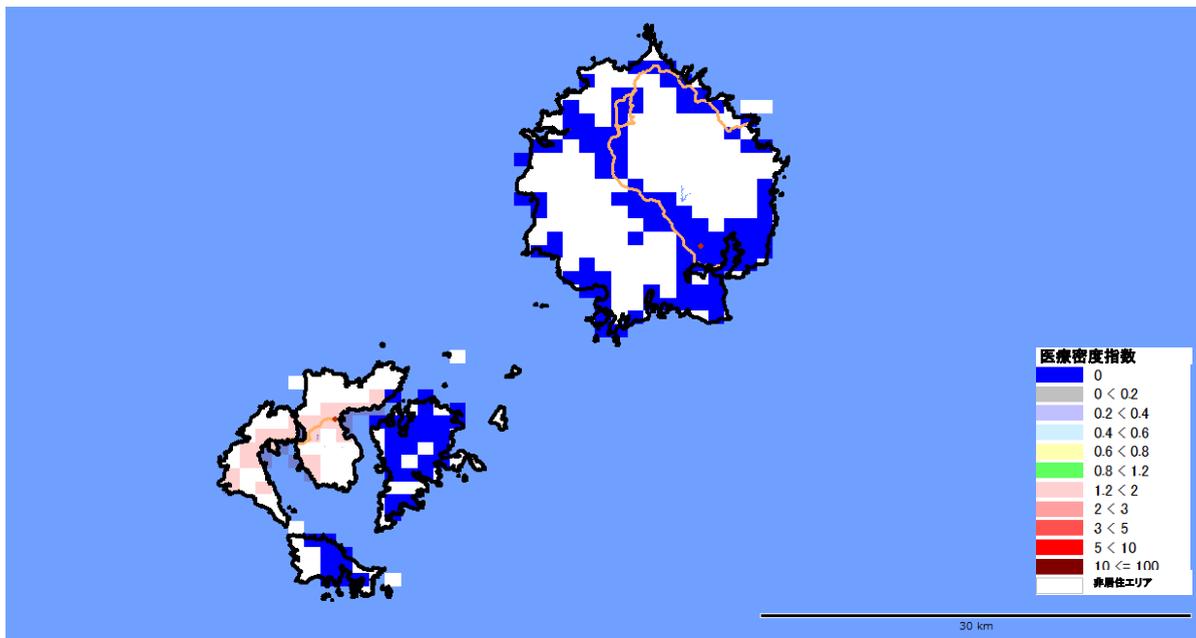


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表32-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-7-2 慢性期医療密度指数マップ



## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。